中西部
ヤングサッカーニュース
2009 1
発行責任者／(財)静岡県サッカー協会中西部支部支部長　杉本直己　　企画構成編集責任者／滝本義三郎
中西部支部ホームページアドレス　　http://www3.tokai.or.jp/sfa-chusei/

期待の若手成長株

若い選手の活躍が目覚ましかった昨年の清水エスパルス。その中で、成長を続ける中西部出身の枝村匠馬選手と山本真希選手の２人には、更なる活躍に期待がかかる。



枝村　匠馬
清水エスパルス
MF

1986年11月16日生
川崎小→榛原中（清水エスパルスＪＹ）→静岡市立高（清水エスパルスＹ）

―昨年の好調のきっかけ、それまでとの違いは？

枝村　これまでにも活躍できた年、できなかった年があって、一年一年が勝負です。ライバルとの競争に勝てた時、そして、結果を出し続ければ試合にも出られると思っています。

山本　一試合一試合が大事なアピールの場だったので、一試合でどれだけ自分がアピールしてチームの勝利に貢献できるか、ということを常に考えてやっていました。ナビスコカップの準決勝でチャンスをもらって、２戦目では点を取れたしアシストもできて、アピールできたのが大きかったと思います。

―お互いについて変わったと感じる部分はありますか？

枝村　（山本選手は）今までと同じようにやっていると思うけど、その積み重ねが結果に出たのだと思います。

山本　（枝村選手は）トップ下のポジションで、よりゴール↖に近付いて、以前から得点能力はすごくあったと思うので、それが生かせて、昨年は点を取ってチームに貢献してくれました。

―長谷川健太監督から言われていることは？

枝村　良い時は良いけど、悪い時は存在が薄くなってしまうので、精神的な強さを求められています。

山本　いつも思い切りやれと言われています。

―今年の抱負をお願いします。

枝村　昨シーズンの結果を無駄にしないように、また一つ大きくなって成長できたらいいと思います。

山本　昨年取れなかったタイトルを取ることと、そのために自分が出て活躍して勝利に貢献できるように、最初からアピールできればいいなと思います。



山本　真希
清水エスパルス
MF

1987年８月24日生
大津小→島田第二中（清水エスパルスＪＹ）→静岡学園高（清水エスパルスＹ）

実りある年にW杯出場目指す



長谷部　誠
ヴォルフスブルク
MF

1984年１月18日生
青島東小→青島中→藤枝東高→浦和レッドダイヤモンズ

ドイツ、ヴォルフスブルクでの**２年目のシーズン。日本代表としてW杯出場を目指しアジア最終予選に挑む長谷部誠選手が、今季にかける思いを綴った。**

新年明けまして、おめでとうございます。

ドイツに渡り一年が過ぎました。思い起こせばクラブW杯で海外のチームと対戦し、より強く海外でプレーしたい気持ちを持ち、希望と不安の交差する中、慌しく日本を飛び立ったことを思い出します。

ドイツでの一年間を振り返ると、雑誌等で紹介されましたが、最初に待っていたのが、激しく過酷な練習で、本当に肉体的には辛い日々でしたが、意外と精神的負担は少なかった様に思います。ドイツはJリーグのような外国人枠は無く、当チームにも各国代表選手が多く、練習はまず一生懸命、次に激しく、本当に気が抜けません。全てが競争です。しかし、練習が終われば皆陽気な人達です。

特に感じたのは、試合でのミスをくよくよせず翌日にはとても明るく出来る、気持ちの切り替えの早さには驚かされます。主に右サイドの中盤やディフェンスで出場しましたが、まだまだ不完全燃焼です。皆さんがこのサッカーニュースを読まれている頃は、ドイツで合宿中だと思いますが、シーズン後半戦やUEFA杯を控え、更にW杯出場を懸ける重要な年です。本当に人生を賭け、実りある年にしたいと思っています。

中西部のサッカー選手、関係者の皆様にとって今年一年明るく希望に満ちた年でありますよう、心よりお祈り申し上げます。

中西部の星
一層の飛躍を

中西部で育ったJリーガー。彼らの一層の飛躍を期待したい。頑張れ!!　中西部の星！

山田　暢久
浦和レッドダイヤモンズ
MF


©URAWAREDS

1975年９月10日生
稲葉小→藤枝中→藤枝東高

Ｊ１リーグ４００試合出場

２００８年11月８日のコンサドーレ札幌戦で史上３人目となるＪ１リーグ４００試合出場を達成した。

４００試合出場を達成しましたが、「４００」という数字に当初はあまりピンときていませんでした。しかし、これまでに達成した選手が、２人（伊東輝悦選手・藤田俊哉選手）しかいないことを聞き、光栄に思うと同時に、改めてその記録の偉大さに気付かされました。この記録を達成できたのも、両親や家族、そして中西部支部の皆様をはじめとした多くのみなさんに支えていただいたからだと思います。

改めて感謝致します。

自分自身は、まだまだやれると思っていますし、更に上を目指してがんばっていきます。今後ともご支援、ご声援をよろしくお願いします。

岡田　隆
ジュビロ磐田
DF


©2008Y.F.C.

1984年４月10日生
西益津小→西益津中（ジュビロ掛川）→藤枝東高→筑波大

厳しい試合の経験を今年につなげる

Ｊ１リーグ終盤戦とＪ２仙台との入れ替え戦に出場し、ジュビロ磐田の１部残留に貢献した。

残留を争うギリギリの戦いを経験できたことはすごく貴重な経験でした。その中で、自分の課題や通用するところが分かったことは大きかったと思います。

ＤＦ面では、人に対してはある程度対応できたと思いますが、対チームとしてどういう特徴があるからどういう守り方をするという部分はまだ上手く相手に順応してできていない、引き出しが少ないという感じです。また、攻撃面でももっと有効なパスが出せるようになりたいです。

今年は開幕からずっと試合に出られるように、できれば全試合に出るくらいの気持ちで、しっかりキャンプから準備して、アピールしていきたいと思います。

中山　雅史 ジュビロ磐田	ＦＷ　1967年９月23日生 岡部小→岡部中→藤枝東高→筑波大
石川　竜也 モンテディオ山形	ＤＦ　1979年12月25日生 西益津小→西益津中→藤枝東高→筑波大
大井　健太郎 ジュビロ磐田	ＤＦ　1984年５月14日生 高洲南小→高洲中（ＡＣＭブルックスＦＣ）→藤枝東高
成岡　翔 ジュビロ磐田	ＭＦ　1984年５月31日生 六合小→六合中（ＥＷＳ・ＦＣ）→藤枝東高
谷澤　達也 ジェフユナイテッド市原・千葉	ＭＦ　1984年10月３日生 大井川東小→大井川中（ＥＷＳ・ＦＣ）→静岡学園高
赤星　貴文 浦和レッドダイヤモンズ	ＭＦ　1986年５月27日生 富士神戸小→吉原北中（清水エスパルスＪＹ）→藤枝東高
佐野　克彦 清水エスパルス	ＤＦ　1988年４月30日生 焼津西小→高洲中（清水エスパルスＪＹ）→静岡市立高（清水エスパルスＹ）
河村　崇大 東京ヴェルディ	ＭＦ　1979年10月４日生 六合小→六合中→常葉菊川高（ジュビロ磐田Ｙ）
岡田　佑樹 栃木SC	ＭＦ　1983年10月４日生 藤枝中央小→藤枝中（ＥＷＳ・ＦＣ）→藤枝東高
小澤　雄希 水戸ホーリーホック	ＤＦ　1983年10月４日生 高洲南小→高洲中（ＡＣＭブルックスＦＣ）→藤枝明誠高
金澤　大将 水戸ホーリーホック	ＭＦ　1983年12月１日生 南部小→中川根中→藤枝東高→東京学芸大
村松　大輔 湘南ベルマーレ	ＤＦ　1989年12月16日生 焼津南小→焼津中（藤枝東ＦＣ）→藤枝東高

※１月14日現在

新たな挑戦

ジュビロ磐田
名波　浩


©2008Y.F.C.

～指導者への道～

藤枝市出身の元日本代表、名波浩氏が２００８年シーズンを最後に選手生活にピリオドを打ち、新たな道へと進み始める。

小学生の時から各カテゴリーで思い描いた通りにプレーできたと思います。プロというのは自分が想像していたより厳しい世界でしたが、それなりに結果を残せて、充実した現役生活だったと感じています。

選手としては引退しますが、今後もサッカーから退くことはないので、関係した仕事に携わりながら、子供たちに教えたり、指導者への道をステップアップしながら歩んでいって、いずれはＪリーグの監督になりたいと思っています。指導者ライセンスは、（Ｂ級を取得しており）Ａ級とＳ級を残すのみです。ライセンスの取得にも臨みたいですし、また、海外の指導者を見て刺激を受けたりもしてみたいです。

―中西部の皆さんに一言―

他の地域にはない高いレベルの選手と交流することによって、実力的にも上がり、人間関係も築けるだろうと思います。この地域を大切にして、サッカーで人間形成をさせていってほしいです。

【略歴】
日本代表として１９９８年の W杯フランス大会に出場。１９９８年と２０００年にはＡＦＣ年間ベストイレブンに、Ｊリーグでも１９９６年～１９９８年と２００２年にベストイレブンに選出されるなど、輝かしい実績を築いた。

中西部
ヤングサッカーニュース
2009 2

発行責任者／(財)静岡県サッカー協会中西部支部支部長　杉本直己　企画構成編集責任者／滝本義三郎中西部支部ホームページアドレス　http://www3.tokai.or.jp/sfa-chusei/

高洲南ＳＳ　第3位　青島東ＳＳ





JA全農杯チビリンピック2009 小学生8人制サッカー大会IN東海

小学４年生以下の選手が対象となる、ＪＡ全農杯チビリンピック２００９小学生８人制サッカー大会ＩＮ東海が１月17日、18日に岐阜県で行われた。サークルＫサンクスカップでベスト４入りした青島東ＳＳと高洲南ＳＳの中西部勢２チームが出場し、ともに３位入賞を果たした。

４県から４チームずつの16チームが参加して、４組に分かれて予選リーグを行い、各組の１位４チームが決勝トーナメントに進んだ。静岡２位の青島東は愛知１位のアズーリ豊橋を、静岡３位の高洲南は三重１位の伊勢ＭＴＫをそれぞれ破るなどで、ともに２勝１分けでグループ１位となり、決勝トーナメントに進出した。

高洲南の相手は静岡１位の高部ＪＦＣ。前半に２失点を喫すると、後半にも１点を奪われた。ともに敗れて、惜しくも決勝進出はならなかった。

準決勝で青島東は名古屋グランパスと対戦し、前半に先制するも、その後４点を奪われ逆転を許した。高

予選リーグ試合結果（中西部勢のグループのみ）

２グループ	豊橋	青島東	則武	名張	勝点	順位
アズーリ豊橋ＳＣ		●1-2	●1-3	●1-2	0	4
青島東ＳＳ	○2-1		△1-1	○3-1	7	1
則武ＳＳＳ	○3-1	△1-1		●2-3	4	3
名張ＮＦＣ	○2-1	●1-3	○3-2		6	2

３グループ	伊勢	各務原	高洲南	ホッツ	勝点	順位
伊勢ＭＴＫ		○6-1	△2-2	●0-3	4	3
各務原中央ＪＦＣ	●1-6		●0-5	●0-2	0	4
高洲南ＳＳ	△2-2	○5-0		○3-1	7	1
ＦＣホッツ	○3-0	○2-0	●1-3		6	2

決勝トーナメント試合結果



静岡県トラック協会長杯 第24回 静岡県U-14新人サッカー大会

金谷中学校　初のベスト8入り

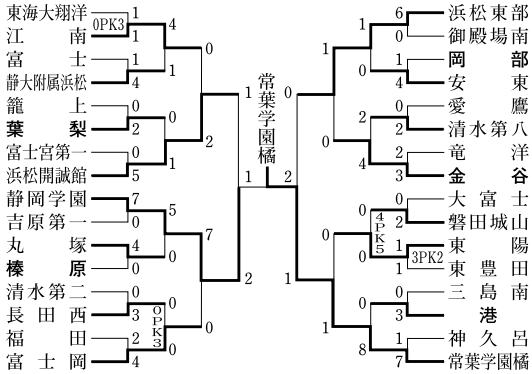
今回から中体連チームのみで実施された、静岡県トラック協会長杯第24回静岡県Ｕ－14新人サッカー大会が１月10日、17日、31日に行われた。各支部の代表32校が参加してトーナメント戦で争われ、中西部１位で出場した金谷が、初のベスト８入りを果たした。また、中西部２位の葉梨も、２回戦で浜松開誠館に敗れはしたが１失点と健闘した。

金谷は初戦で竜洋との接戦を制すと、２回戦で清水第八に先制を許すも、増田裕介のハットトリックなどで逆転。４対２で勝利して初の準々決勝に駒を進めた。西部１位の浜松東部との対戦は、サイドや前線でドリブル突破を許し押し込まれるも、粘り強く守り無失点で折り返す。しかし、後半開始35秒にクリアボールを逆サイドに送られシュートを決められ失点。終盤には相手ゴール前に詰め寄るも最後の詰めを欠き、追いつくことはできなかった。

２回戦で浜松開誠館と対戦した葉梨は、前半に好機もあったが、０対０のまま進んだ後半も残り僅かな時間での失点と、善戦した。


金谷　VS　浜松東部

静岡県Ｕ-14新人サッカー大会　試合結果



第32回 東海地区中学生選抜サッカー大会

静岡県選抜 中西部3名参加

14歳以下のトレセン活動の一環となる東海地区中学生選抜大会が１月24日、25日に磐田市で実施された。４県の各県選抜チームに、今回は清水エスパルス、ジュビロ磐田、名古屋グランパスの各ジュニアユースチームが参加して試合を行った。Ｕ－14とＵ－13に分けて行われ、静岡県選抜16名ずつの中に中西部勢ではＵ－13に３名が選出され参加した。

静岡県Ｕ－13の中西部勢		
GK	浦山　智樹	エスパルスSS藤枝
MF	岸　開登	エスパルスSS藤枝
FW	加納　健人	Ｈｅｒｏ ＦＣ

第24回 静岡県ヤングサッカーフェスティバル

3/1(日) 藤枝総合運動公園で開催

今回の静岡県ヤングサッカーフェスティバルは、３月１日に藤枝総合運動公園サッカー場で開催される。Ｕ－12の部で藤枝・榛原と焼津・島田のそれぞれの小学生選抜が対戦するのを皮切りに、４試合が行われる。Ｕ－16の部には来年度の新潟国体出場を目指す中学生主体の静岡県Ｕ－16選抜が、藤枝明誠高校Ｕ－16と対戦する。清水エスパルスとジュビロ磐田の両ユースチームによるＵ－18の部の第１試合に続き、第２試合は新人戦などを参考に選考された１・２年生による静岡県高校選抜が、先の全国高校サッカー選手権の優秀選手に選ばれた選手で構成された日本高校選抜に胸を借りる。５年ぶりの中部開催で、多くの地元選手が出場する。観戦・応援に行こう。

対戦カード〈サッカー場〉

- ●Ｕ－12の部　9：00 Kick off（20分ハーフ）
  藤枝・榛原小学生選抜 vs 焼津・島田小学生選抜
- ●Ｕ－16の部　10：00 Kick off（35分ハーフ）
  静岡県Ｕ-16選抜 vs 藤枝明誠高校Ｕ-16
- ●Ｕ－18の部①　12：00 Kick off（40分ハーフ）
  清水エスパルスユース vs ジュビロ磐田ユース
- ●Ｕ－18の部②　14：00 Kick off（40分ハーフ）
  静岡県高校選抜 vs 日本高校選抜

入場料（税込）

	前売券	当日券
大学生・一般	1,000円	1,200円
中学生・高校生	600円	800円
小学生	300円	500円
親子ペア	1,200円	なし

※親子ペア券は小学生１名と親又は中学生以上１名有効
※小学生未満は入場無料

前売券発売中

新たな挑戦

１級審判員

竹田　明弘



～１級審判員として～

２００８年12月に日本協会より１級審判員として認定されました。将来指導者になりたいという気持ちから、サッカーの勉強のつもりで父親も取得できた審判資格を漠然と取得し、しかしその奥深さに惹かれ、ここまでやってきました。サッカーを成立させているのは、選手は当然ですが、指導者、運営に携わる方々、サポーター、審判など、多岐にわたっています。様々な試合で審判を続ける中で、そのどれが欠けても世界一番ポピュラーなスポーツの更なる発展はないと感じています。そしてそれらを通じ、多くの方々と良き出会いをし、また本当に支えられ、今回１級審判員になれたと思います。感謝の気持ちで一杯です。

今後、より良いサッカー文化を根付かせるために、私の立場でしていくことは、審判として、よりスピーディーで、フェアで、タフな面白いサッカーを選手たちに保証していくことだと思います。同時に、これまで大変お世話になったこの中西部地区をはじめとする地域のサッカーが発展していくためのお手伝いをしていくことです。自分がステップアップをし、Ｊリーグや国際試合を任されるようなレフェリーになっていくことで、より具体的にそれらの目標を達成できるのではないかと考えています。

１級審判員となり、これまでよりさらにプレッシャーのかかる試合、責任が重い試合を担当していくことになるとは思いますが、「プレーヤーズ・ファースト」という大原則を忘れずに、選手が安心してプレーできる環境を作り出せるよう、これからも精一杯努力していきたいです。そしてそのことが今回お世話になった方々やサッカーそのものへの恩返しだと思っています。

今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い致します。

【経歴】
１９７９年７月23日生
島田四小ＳＳＳ～島田二中～大井川高～日本体育大
小学校から大学までサッカー部に所属し自らプレーする傍ら、高校３年時に３級、大学４年時に２級取得。大学卒業後帰省し、主に東海社会人リーグ、東海大学リーグ、東海プリンスリーグ等で審判を務め、２００８年に１級認定試験に合格。

「めざせファンタジスタ」オープン検定 実施

フェスティバルイベントとして、同陸上競技場では中西部支部４種技術委員会の主催により、小学４年生以下を対象に「めざせファンタジスタ」のオープン検定を実施する。チャレンジしてみよう！

「めざせファンタジスタ」オープン検定　参加案内

内　容　「めざせファンタジスタ」ステージ７・８検定
※内容はベースボール・マガジン社発行の冊子（1,500円）を参照。書店、ベースボール・マガジン社のWebサイトにて購入可。
日　時　３月１日(日)　10:15～11:30（受付10:00～）
会　場　藤枝総合運動公園陸上競技場
対人数象　４年生以下の小学生
人　数　先着20名
参加費　200円(当日集金)
申込方法　住所、氏名、年齢、所属チーム（ない場合はなし）、電話番号を明記の上、下記にFAXする。※書式自由
締め切り　２月28日(土)
その他　当日は中西部支部４種トレセン選手も参加
申込み・問合せ先　中西部支部技術委員長
焼津市立小川中学校　福与 吉晴
FAX054-626-1932　携帯090-8154-9472

中西部
ヤングサッカーニュース
2009 3
発行責任者／㈶静岡県サッカー協会中西部支部支部長　杉本直己　企画構成編集責任者／滝本義三郎
中西部支部ホームページアドレス　http://www3.tokai.or.jp/sfa-chusei/

平成20年度 静岡県高校女子サッカー新人大会
藤枝順心 6連覇!!

静岡県高校女子サッカー新人大会は、予選リーグを勝ち上がった8チームによる決勝トーナメントが2月14日、15日、22日に行われ、藤枝順心が優勝、榛原が3位入賞を果たした。



1回戦で磐田北に5対0で快勝した藤枝順心は、準決勝で常葉学園橘と対戦した。試合は後半に動いた。14分にクリアボールを押し込まれ先制を許した。だがその2分後に大澄紫野のクロスに左山桃子が頭で合わせて同点に。さらに25分、西山芽衣の折り返しを阪口萌乃が決めて逆転した。

桐陽との決勝は、終始ボールを支配し、3分の左山のゴールを皮切りに、15分に阪口、16分に中丸裕未、22分には再び阪口が決めて前半で4得点。後半16分にロングシュートで1点を返されるも、31分に左山の得点で駄目押しした。今大会6連覇を達成した藤枝順心は、新年度の大会で昨年以上の成績を目指す。

榛原 2年ぶり3位入賞

榛原は東海大翔洋との1回戦で、ボールをつなぎ、サイドの突破や前線へ合わせて安定した守りで粘り強く跳ね返した。

2年ぶりの4強入りで、県高校総体のシード権を獲得。

たが、守勢を強いられ、セットプレーからの失点で敗れた。

榛原は、ロングスローやセットプレーからの攻撃を武器に、後半25分に右サイドからのシュートを決められ惜敗した。



決勝トーナメント試合結果

藤枝順心
- 1回戦 3－0 聖隷クリストファー
- 1回戦 1－0（延長） 東海大翔洋
- 準決勝 5－2 榛原
- 準決勝 2－0 藤枝北
- 決勝 5－1 磐田西
- 1回戦 3－0 桐陽
- 1回戦 3－0 静岡学園
- 準決勝 3－1 常葉橘

第24回 静岡県ヤングサッカーフェスティバル
藤枝総合運動公園で実施

静岡県ヤングサッカーフェスティバルは24回目となる今回、当㈶静岡県サッカー協会中西部支部の運営で3月1日に藤枝総合運動公園サッカー場を会場に開催された。少年団の子供たちや中学生など多数が観戦する中、U－12の部から始まり、U－16の部と続き、U－18の部で2試合の全4試合が実施された。U－18の部の試合の前には、平成20年度の全国大会優勝チームの県協会表彰式が行われ、全国自治体職員サッカー選手権大会優勝の藤枝市役所など4チームが表彰された。

このフェスティバルイベントして、同陸上競技場では「めざせファンタジスタ」の検定が行われ、小学生が様々な技術に挑戦した。

U－12の部

焼津・島田小学生選抜 2－0 藤枝・榛原小学生選抜

中西部内4地区を焼津・島田と藤枝・榛原とに分け、それぞれの小学生選抜が対戦した。右サイドへ展開し攻めの形を作る藤枝・榛原に対し、除々に縦の飛び出しをみせるなどした焼津・島田が、後半3分に鈴掛涼の中央をドリブルで持ち込んでのシュートで先制。1分後には内藤弘毅が決めて2点目を挙げて突き放した。


焼津・島田小学生選抜

U－16の部

静岡県U－16選抜 0－0 藤枝明誠高校U－16

静岡県U－16選抜を決められず引き分けた。

静岡県U－16選抜は中学3年生のみで編成され、中西部勢では藤枝東FCの安間文俊が選出され出場した。


俊C
文F東3年
安間
藤枝

静岡県U－16選抜に 中西部1名選出

静岡県高校選抜に 中西部勢8名参加

U－18の部 第2試合

日本高校選抜 3－1 静岡県高校選抜

日本高校選抜に、1・2年生の優秀選手で構成された日本高校選抜に3点目を奪われ、敗れた。

静岡県高校選抜は、後半28分にフリーキックから加藤大貴（藤枝東）が頭で合わせて1点を返す。だが、4分後に西部勢では藤枝東FCの安間文俊が選出され出場した。




藤枝明高校U－16


藤枝・榛原小学生選抜

静岡県高校選抜の中西部勢

位置	氏名	所属チーム	学年
ＤＦ	加藤　大貴	藤枝東高校	2
ＤＦ	増田　浩史	藤枝明誠高校	2
ＤＦ	藤原　賢土	藤枝明誠高校	2
ＤＦ	大井　淳平	藤枝東高校	2
ＭＦ	鈴木隆太郎	静岡学園高校（島田第二ＳＳ出身）	2
ＤＦ	浦山　卓郎	常葉学園橘高校（焼津南ＳＳ出身）	2
ＭＦ	蓮池　柊兵	藤枝東高校	2
ＭＦ	辻　　俊行	藤枝明誠高校	2

新たな挑戦

Estrelado/
いちまるスポーツヴィラ焼津フットサル倶楽部
監督兼選手
岡田　竜二

～念願の東海リーグ～

静岡県リーグ開催初年度の2002年に、当時の焼津フットサル倶楽部ランキング不動の1位チーム「BUTANTA：ブタンタ」が、県協会の依頼を受け県リーグに参戦。翌2003年9月、私たち「Estrelado」は、焼津フットサル倶楽部が「競技志向」のフットサルの普及を目標にその「BUTANTA」を吸収する形でスタートしました。

当初の目標として静岡県リーグを制覇し東海リーグ昇格を目指しましたが、サッカースタイルの技術力だけで勝てるほどフットサルの世界は甘くありませんでした。そこで次なる壁を越えるべく、フットサルの基本技術、基本戦術を覚える事を始めました。慣れない動きに悪戦苦闘をしながらも、少しずつ成果を上げる様になり、2007年には PIVO CUPで念願の全国大会出場（ベスト8）も果たしました。しかし、県リーグ制覇はまた果たせず終わってしまいました。

そして今年こそはと県リーグ制覇を重点に置き、選手、スタッフ一丸となり、県リーグ参戦から苦節6年、念願の静岡県リーグ制覇を全勝で成し遂げる事が出来ました。結成当初からいるメンバーはかなり感慨深いものがあると思います。一時はサッカースタイルで頂点を極め、その後フットサルの壁に当たり、またメンバーの入れ替わりによるチームの変化に戸惑いながらたどり着いた場所ですから。

東海リーグでは今まで通用していた部分が通用しなくなる場面が出てくると思われるので、開幕までの期間に練習試合などを精力的にこなしチーム力の向上を目指して行きたいと思います。そして静岡県、中西部地区の代表として恥ずかしくない試合を積み重ねていきたいと思います。

「めざせファンタジスタ」検定実施

女子3名を含む小学4年生153名が参加して、ステージ7から10までの検定が実施された。ボールの両手投げに、リフティングやターンなどの技術を両足でできて合格となるため、利き足でない足では苦戦する選手が多数みられた。ステージ7が131名（以前に合格している選手を除く）、同8が11名、同9が9名、同10は4名が合格した。




ジュビロ磐田Ｙ　VS　清水エスパルスＹ

U－18の部 第1試合

ジュビロ磐田Ｙ 4－2 清水エスパルスＹ

藤枝・榛原小学生選抜

位置	氏名	所属チーム
ＧＫ	知識　貴史	西益津ＳＳ
ＤＦ	池谷　　凌	藤枝ＳＳ
ＭＦ	斉藤　孝輝	広幡ＳＳ
ＦＷ	池田　主詩	青島東ＳＳ
ＦＷ	加茂　裕介	葉梨ＳＳ
ＭＦ	杉山遼太朗	藤枝明誠ＳＣ
ＭＦ	鈴木　翔太	高洲南ＳＳ
ＤＦ	孕石　純也	青島ＳＳ
ＦＷ	八木僚太朗	藤枝明誠ＳＣ
ＭＦ	山口　大貴	藤枝ＳＳ
ＭＦ	鈴木　海斗	高洲ＳＳ
ＭＦ	大石　元気	榛原川崎ＳＳ
ＦＷ	川本　紘平	住吉ＳＳ
ＭＦ	辻　　凌五	榛原川崎ＳＳ
ＦＷ	山本　　勇	吉田中央ＳＳ
ＧＫ	油井　孝太	自彊ＳＳ

焼津・島田小学生選抜

位置	氏名	所属チーム
ＧＫ	久保寺来飛	小川ＳＳ
ＭＦ	金山　晃典	焼津南ＳＳ
ＦＷ	小谷　春日	焼津西ＳＳ
ＭＦ	鈴木　尚弥	大井川南ＳＳ
ＭＦ	渡伸　亮太	焼津西ＳＳ
ＦＷ	濱　　託巳	大富ＳＳ
ＭＦ	山浦　　涼	焼津南ＳＳ
ＭＦ	小寺　将意	初倉ＦＣ
ＦＷ	鈴掛　　涼	島田第二ＳＳ
ＭＦ	竹林慎一郎	島田第二ＳＳ
ＦＷ	内藤　弘毅	初倉ＦＣ
ＧＫ	平松　　樹	島田第一ＳＳ
ＭＦ	中村祐次郎	島田第三ＳＳ
ＭＦ	長谷川眞人	島田第四ＳＳ

中西部
ヤングサッカーニュース
2009 4
発行責任者／㈶静岡県サッカー協会中西部支部支部長　杉本直己　企画構成編集責任者／滝本義三郎
中西部支部ホームページアドレス　http://www3.tokai.or.jp/sfa-chusei/

㈶日本サッカー協会・藤枝市「夢の教室」開催協定締結

㈶日本サッカー協会と藤枝市が、ＪＦＡこころのプロジェクト「夢の教室」開催に係る協定を結んだ。３月28日、藤枝市役所において、川淵三郎日本サッカー協会名誉会長と北村正平藤枝市長が、それぞれ協定書にサインをし、締結となった。



「夢の教室」とは、日本サッカー協会が進めるプロジェクトで、元Ｊリーガーや現役選手、またサッカーに限らず様々なスポーツのトップアスリートなどが「夢先生」として全国各地の小学校へ赴き、ゲームとトークの時間を通して子供たちと触れ合っていくもの。

「夢先生」の経験を通した話を聞くことで、子供たちが夢を持ち、挫折を乗り越えていくきっかけになるようにという願いが込められている。

中西部内では、今年２月９日に稲葉小学校で行われており、協定がなくても実施される「夢の教室」だが、この協定締結により「確実に藤枝市で何回か実施する。また、研究結果に伴うノウハウを提供できる」と川淵名誉会長は意義を説明。

「このプロジェクトを通して、一人でも多くの子供たちに夢を持って貰いたい」と北村市長。サッカーを核とした藤枝まちづくりを推進する藤枝市において「日本サッカー協会の協力を得て、サッカーの振興とともに、経済の活性化、青少年の健全育成を促進し、子供たちからシニアまで全ての人が輝く、誇りと元気のあるまち藤枝を発信して行きたい」と語った。

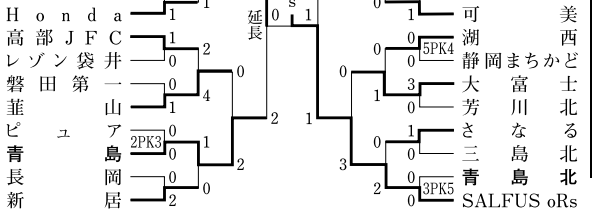
しずぎんカップ第24回静岡県ユースU−11サッカー大会　青島SS　第3位

昨年度の５年生以下の選手が参加対象となる、しずぎんカップ静岡県ユースU−11サッカー大会が３月14日、15日、22日に行われ、青島ＳＳが３位に入賞した。前年度のサークルＫサンクスカップ静岡県キッズU−10大会の準優勝に続き、好成績を残した。



１回戦でピュアをＰＫ戦の末に破った青島は、新居、韮山を続けて撃破し、準決勝に進んだ。カワハラとの対戦は、大きな展開からサイドの突破や前線への飛び出しなど積極的な攻めで２点を先行。開始２分に天野寛珠の左ＣＫを大石直輝が頭で合わせると、７分には右サイドの小林海斗のクロスを大橋潤也が蹴り込んだ。

しずぎんカップ静岡県ユースU−11サッカー大会　試合結果



だが、徐々に中盤でのプレスが掛からなくなり、相手にボールをつながれる。そして、17分に１点を返されると、後半３分に同点に追い付かれた。守勢にも身体を張った守りで延長戦に突入したが、前半のロスタイムに逆転弾を許し惜敗した。

第21回 ジュビロ磐田Jr.ユース地区代表選手大会　中西部クラブ選抜U−13　準優勝

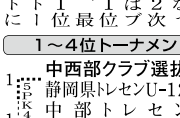


ジュビロ磐田Jr.ユース地区代表選手大会が３月22日から24日まで行われた。U−13とU−14の部に分かれて争われ、U−13の部には中西部内７つのクラブチームから選手を選出した中西部クラブ選抜に、藤枝、焼津、榛原の３地区トレセンが、U−14の部には中西部クラブ選抜と焼津トレセンが出場した。

U−13の中西部クラブ選抜は、第１戦でジュビロ磐田に敗れて１次予選ブロック３位となったが、２次予選ではブロック１位となり、最終日の１位～４位トーナメントに進んだ。準決勝で静岡県トレセンU−12と対戦し、開始早々に失点するも、スピードで上回り、ドリブルで仕掛けるなどして攻め込む。そして、前半19分に谷口将基、21分に川本拓弥がそれぞれ決めて逆転。後半は互いに相手ゴールに詰め寄るが得点なく、中西部クラブ選抜が勝利を収めた。

決勝は再びジュビロ磐田との対戦となり、序盤は後方でのパスは回させてもゴール前へ入れさせなかったが、徐々に中盤でボールを奪えなくなり28分に失点。後半の反撃もパスミスなどで攻めきれず惜敗し、２連覇はならなかった中西部クラブ選抜だが、昨年に続く決勝進出で準優勝した。

１～４位トーナメント試合結果



静岡県選抜U−13に5名 静岡県トレセンU−12に7名 中西部選手出

この大会ではU−14の部に静岡県選抜U−13、U−13の部に静岡県トレセンU−12と、それぞれ１学年下の選手たちが参加した。中西部勢では静岡県選抜U−13に５名、静岡県トレセンU−12に７名が選抜された。

県選抜U−13は準優勝、県トレセンU−12は３位となり、それぞれ貢献した。





静岡県トレセンU−12の中西部勢

位置	氏名	所属チーム
DF	鈴木　海斗	高洲SS
MF	小寺　将意	初倉FC
FW	金山　晃典	焼津南SS
MF	小谷　春日	焼津西SS
MF	池田　主詩	青島東SS
DF	川本　紘平	住吉SS
GK	平松　樹	島田第一SS

静岡県選抜U−13の中西部勢

位置	氏名	所属チーム
FW	加納　健人	Hero FC
MF	水上　凌太	藤枝中学校
FW	水野　匠弥	藤枝東FC
DF	原口　大河	藤枝東FC
MF	吉田　祐弥	藤枝明誠SC

※加納選手は体調不良のため不参加

新たな挑戦

藤枝市役所
スポーツ振興課
大久保　幸廣

～「サッカーのまち藤枝ドリームプラン」を策定～

藤枝市では、サッカーを核としたまちづくりを推進するために、「サッカーのまち藤枝ドリームプラン」を策定しました。

トップレベルの試合の開催や富士山静岡空港を活用した都市交流、健康づくりなど、サッカー競技者だけではなく、広く市民が関われる施策を実施します。

優れた人材、組織、施設、大会、歴史といった財産を活かし、サッカー文化の醸成と、市内外へのＰＲ・情報発信を行い、ふるさと意識の醸成、青少年の健全育成、地域活性化、経済の活性化を目指します。

７月には、なでしこジャパンのキャンプ、９月には日本スポーツマスターズ富士山静岡大会の開催、来年２月には、宝くじスポーツフェア「ドリームサッカー～日本代表ＯＢがやってくる！～」を開催予定です。

中西部サッカー協会にお かれましても、今後とも一層のご理解、ご協力をお願い申し上げます。

※ドリームプランは藤枝市ホームページで閲覧できます。



歴史・誇り・夢あふれる『サッカーのまち藤枝』


U-14 中西部クラブ選抜 VS ヤマハジュビロ磐田


U-13 焼津トレセン VS ヤマハジュビロ浜松


U-14 焼津トレセン VS ジュビロ磐田


U-13 藤枝トレセン VS 裾野トレセン


U-13 榛原トレセン VS 中部トレセン

中西部
ヤングサッカーニュース
2009 5
発行責任者／㈶静岡県サッカー協会中西部支部支部長　杉本直己　企画構成編集責任者／滝本義三郎
中西部支部ホームページアドレス　http://www3.tokai.or.jp/sfa-chusei/

第33回 全日本少年サッカー大会 中西部地区予選
金谷、相良、青島が県大会へ

全日本少年サッカー大会の中西部地区予選が４月19日、26日、29日に行われた。中西部内４地区の各予選を勝ち上がった12チームが、４組に分かれてリーグ戦を行い、各組で１位となった青島、相良、島田第四、金谷の４チームが出場決定トーナメントに進出。３つの県大会出場枠を争った。

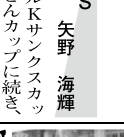
１戦目は金谷が前後半に１点ずつを奪い島田第四を下し、２戦目は前半の１得点で相良が青島に競り勝った。金谷と相良がまずは県大会に名乗りをあげた。残る１枠を争う試合は、延長戦の末に１対０で青島が島田第四を振り切り、県切符を手にした。

県大会は６月20日、21日に藤枝総合運動公園陸上競技場と藤枝市民グラウンドを会場に開催される。

リーグ戦最終順位

	1位	2位	3位
A	青　島	焼津西	吉田中央
B	相　良	島田第二	藤枝中央
C	島田第四	東益津	西益津
D	金　谷	焼津豊田	高　洲

出場決定トーナメント試合結果



金谷ＳＳ　大石　宏海

僕たちは、しずぎんカップでは中西部予選敗退と悔しい思いをしました。

この全日少に向けて、チームワークを大切に18人全員が県大会出場を目標に厳しい練習を重ねてきた結果、念願の県大会出場を果たすことができてとてもうれしいです。

県大会では、中西部代表として全力でプレーをしてベスト８を目指し頑張ります。

相良ＳＳ　矢野　海輝

サークルＫサンクスカップ、しずぎんカップに続き、全日本少年サッカー大会でも県大会に行けてとてもうれしいです。

僕達のチームは、一人一人の技術は低いけれど、チームワークは他のチームには負けません。「練習のための練習」をして、県大会では勝ち進んで行けるようにがんばります。

青島ＳＳ　滝井　敦

僕たちは、まだ県大会で優勝したことはありません。

しかも、４年生の時は準優勝で、５年生の時は３位と順位が落ちています。その理由は前の４年生の時にくべたらボールを一生懸命追っていないからです。だからこの県大会ではボールを一生懸命追って、最後まであきらめずに全力でプレーしたいです。


金谷ＳＳ


相良ＳＳ


青島ＳＳ

第30回 松永杯争奪中西部中学生サッカー大会
優勝　島田第一中学校
島田第一・榛原・川根が県大会出場

松永杯争奪中西部中学生サッカー大会は、予選リーグを勝ち上がった16校が決勝トーナメントに進み、５月２日にベスト４が激突した。ポカリスエットカップ静岡県Ｕ−15サッカーチャンピオンシップ2009中西部地区予選


島田第一中学校


榛原中学校


川根中学校

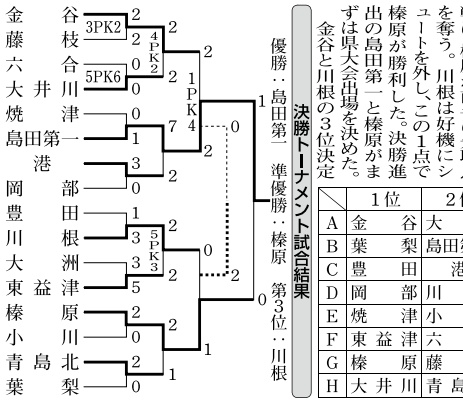
静岡県Ｕ−15チャンピオンシップ中体連の部の中西部予選を兼ね、島田第一、榛原、川根の３校が県大会の出場権を獲得した。

準決勝、金谷と島田第一の一戦は、２対２の同点でＰＫ戦に突入。ＧＫ宮地飛馬が２人を止めた島田第一が４対１で競り勝った。川根と榛原の対戦は、榛原が前半に先取点を奪う。川根は好機にシュートを外し、この１点で榛原が勝利した。決勝進出の島田第一と榛原がまずは県大会出場を決めた。

金谷と川根の３位決定戦は、開始２分にロングパスに抜け出した河野誠二のゴールで川根が先制した。金谷はサイドへボールを散らして攻撃するがゴールを奪えず。後半３分に川根は押し気味に進めるも、16分に島田第一が杉本雅敏からのボールをフリーになった柴田大進が蹴り込み１点を奪った。榛原も反撃するが決まらず、島田第一が27年ぶりの優勝を果たした。

※県大会の組み合わせは３面に掲載

決勝トーナメント試合結果



優勝：島田第一　準優勝：榛原　第３位：川根

予選リーグ最終順位

	1位	2位	3位	4位
A	金　谷	大　洲	中川根	――
B	葉　梨	島田第一	初　倉	――
C	豊　田	港	和　田	――
D	岡　部	川　根	西益津	附属島田
E	焼　津	小　川	大　村	吉　田
F	東益津	六　合	島田第二	広　幡
G	榛　原	藤　枝	青　島	相　良
H	大井川	青島北	大　富	高　洲

JFAプリンスリーグU−18東海2009
藤枝明誠　首位で折り返す

４月11日に開幕したＪＦＡプリンスリーグＵ−18東海の１部は、５月10日までに未消化の第１節、名古屋グランパス対清水エスパルスの一戦を除く１節〜５節の試合を終了した。開幕から好調を維持する藤枝明誠が、４勝１分けで高校総体県予選前の前半戦を首位で折り返した。

初戦で藤枝東との藤枝対決を制した藤枝明誠は、２節で静岡学園に３対２で逆転勝ち。続く清水エスパルス戦は前半の１点で勝利し、常葉学園橘には後半に３点を奪い快勝した。４連勝で迎えた５節で昨年１位の名古屋グランパスと対戦し、開始早々に先制。後半に追い付かれ、終盤には猛攻を受けるがそれをしのいで引き分けた。

６月13日に再開する後半戦の残り４試合で、初の高円宮杯全日本ユース（Ｕ−18）選手権大会出場（上位３チーム）を目指す。


藤枝明誠　VS　名古屋グランパス

５節までの暫定順位（５月10日現在）

順位	１部	勝	分	負	勝点	得失差
1	藤枝明誠高校	4	1	0	13	8
2	静岡学園高校	3	1	1	10	7
3	ジュビロ磐田	3	1	1	10	4
4	四日市中央工業高校	2	2	1	8	1
5	名古屋グランパス	2	1	1	7	1
6	清水エスパルス	1	2	1	5	3
7	藤枝東高校	1	1	3	4	-3
8	常葉学園橘高校	0	3	2	3	-4
9	清水商業高校	1	0	4	3	-6
10	磐田東高校	0	2	3	2	-11

※名古屋グランパスと清水エスパルスは試合数が１試合少ない

藤枝東は後半戦の巻き返しに期待

藤枝明誠との初戦で黒星を喫した藤枝東は、２節の磐田東には４対１で快勝した。だが、ジュビロ磐田、清水商業と続けて敗れ、５節の四日市中央工業に引き分け、７位で前半戦を終えた。後半戦の巻き返しに期待したい。

新たな挑戦
～女子の新チーム発足～

ラガッツァ焼津
代表
黒松　則行

焼津市に女子チームを発足させ４月に登録をし、本格的に活動を開始しました。

チーム名を「ラガッツァ焼津」といい、「焼津の少女達」という意味です。少年委員長でありながらなぜ？と思われるかと思いますが、焼津市に女子の才能がある選手達がいるのになぜ活躍出来るチーム、部活が無いのか？が最初の思いでした。年数が経ち女子選手が他地区のチームへ行ったり、サッカーをやめてしまったりしているのを見て、なんとかしなければと思い「少年も少女も同じだ。焼津のジュニアを盛り上げよう」こんな思いで女子チームを立上げる事にしました。

現在は中学１年生から小学２年生まで42名で活動しています。焼津南小学校のグラウンドを主な活動場所とし、週３回の練習を行っています。毎週火曜日には「焼津クイーンズ」さんの御厚意で一緒に練習をしています。42名は同じグラウンドで仲良く楽しく練習をしています。小学生は初心者がほとんどで基礎練習を中心にサッカーを楽しんでいます。中学生はほとんどが少年団で経験のある選手達なので、練習も個人技を中心に状況判断なども出来るように指導しています。チームを立上げたばかりですが、夢は大きく持ち、是非、「焼津からなでしこを」出したいと思います。

多くの皆様に応援をして頂いています。応援にお応え出来る様に頑張り、そしてチームが焼津に根付くように頑張ります。

最後に女子のクラブチームとしては新米です。今後とも皆様には支援して頂けますようによろしくお願い致します。

中西部
ヤングサッカーニュース
2009 6

発行責任者／㈶静岡県サッカー協会中西部支部支部長　杉本直己　　企画構成編集責任者／滝本義三郎
中西部支部ホームページアドレス　　http://www3.tokai.or.jp/sfa-chusei/

平成21年度 ㈶静岡県サッカー協会中西部支部 総会



平成21年度の㈶静岡県サッカー協会中西部支部総会が、５月23日に藤枝エミナースで開かれた。まず初めに富澤静雄会長が挨拶され、「現状の見直しを考える時期との思いで昨年、各地区協会の会長と相談して勉強会を立ち上げ、今年も続けていきたい。強化育成などに繋がる地域に必要な事業を、今期は皆さんとともに走りながら考えて行きたい」と述べられた。



続いて議事では、昨年度の事業報告と収支決算報告、今年度の事業計画と収支予算などの説明が行われ、満場一致で承認された。

その後、昨年度に好成績を収めた指導者やチーム、選手の表彰が行われ、表彰状と記念品が贈られ、盛会裡に終了した。

平成20年度 ㈶静岡県サッカー協会中西部支部 功労表彰者（敬称略）

(1) 優秀指導者

◇大石　和孝（藤枝東高校サッカー部）

(2) 優秀団体

◇藤枝市役所サッカー部
　第38回全国自治体職員サッカー選手権大会　優勝
◇矢崎バレンテフットボールクラブ
　第13回スルガカップ争奪静岡県サッカー選手権大会　優勝
◇ＮＰＯ藤枝東フットボールクラブ
　第７回全国シニア(50歳以上)サッカー大会　準優勝
◇藤枝東高校サッカー部
　第87回全国高校サッカー選手権大会　静岡県大会　優勝
◇藤枝順心高校サッカー部
　第17回全日本高等学校女子サッカー選手権大会東海大会　優勝
　第12回全日本女子ユース(U-18)サッカー選手権大会　第３位

(3) 優秀選手

◇日本スポーツマスターズ2008高知大会　優勝
　良知　力（榛原シニア）　原崎　智弘（焼津信用金庫）
　吉川広三郎（島田シニア）　日下部　充（大井川町役場）
　岩ヶ谷佳史（大井川町役場）
◇第63回国民体育大会　成年の部　第３位
　宮城　達也（矢崎バレンテ）　中村　宏昭（矢崎バレンテ）
　大森　敬之（矢崎バレンテ）　松尾　昌則（矢崎バレンテ）
　杉本　康介（矢崎バレンテ）　渡邊　俊（矢崎バレンテ）
　鈴木　孝博（矢崎バレンテ）　井口　大輔（矢崎バレンテ）
　萩田　祐介（矢崎バレンテ）　長谷川　敦（藤枝市役所）
　海野　創（藤枝市役所）　平　憲人（藤枝市役所）
　杉山　和弘（藤枝市役所）

㈶静岡県サッカー協会中西部支部 平成21年度重点目標

１．全国大会の開催・運営

★高円宮杯第20回全日本ユース(U-18)サッカー選手権大会　1次ラウンド
　藤枝総合運動公園サッカー場・焼津市陸上競技場　　９月６日・13日・19日
★日本スポーツマスターズ　サッカー競技
　藤枝総合運動公園サッカー場ほか　　９月19日～22日
★第14回東西大学交流サッカー大会
　藤枝総合運動公園サッカー場ほか　　８月20日～22日

２．指導者の育成と資質向上

指導者の重要な役割を心に留め、正しいものを指導できる指導者であり、常に資質向上を目指す指導者であってほしい。

３．普及強化

ＪＦＡ２００５年宣言を受けて、サッカーファミリーの拡大を図ると共に地域住民にサッカーへの関心を高め、生涯スポーツとしてのサッカーの普及とサッカー文化の確立を図る。中西部支部の更なる発展のためアカデミー活動を充実させ、将来日本を代表する選手の育成と各チームの強化及び多くのチームの全国大会への出場を目指す。

４．審判員の養成と技術の向上

サッカーのレベルアップには審判員の充実と審判技術の向上が不可欠である。

技術委員会

㈶静岡県サッカー協会
中西部支部2種技術委員
松永　一成

県高校総体を振り返って

静岡県高校総体の男子サッカーは５月17日から６月７日まで行われ、藤枝明誠が準決勝に進み、清水商業にカウンターから先手を許した。その後、サイドバックを上げてより攻撃的に転じると、28分に飯塚祐樹が折り返したボールを安東大介がシュート。ＧＫが弾くもボールはそのままゴールに吸い込まれ同点とし、４分後には辻俊行のクロスを攻勢に進めるが、シュートは枠を捉えられず無得点で折り返す。すると後半20分次郎が押し込み先制点を奪った。だが20分にＦＫから同点にされると、28分にも決められ逆転を許した。そして後半20分に追加点を奪われ、サイドを起点に何度も相手ゴール前に詰め寄る藤枝明誠だが、シュートが打てず。リベンジ、そして決勝進出はならなかった。

「プリンスリーグに向けて課題ができた」と話す田村和彦監督。次は全日本ユース選手権出場を目指して、６月13日に再開したプリンスリーグ後半戦に期待したい。

今年度の県高校総体では、プリンスリーグの藤枝明誠高校と藤枝東高校、また中部総体１次リーグを１位で抜けた、藤枝北高校、吉田高校、焼津中央高校。それに加え２位校リーグを突破した、榛原高校、島田工業高校、島田高校、大井川高校の計９チームと、非常に多数の中西部のチームが県大会に進出した。その中でも藤枝明誠高校は、プリンスリーグ１部で前半戦トップを走り、今大会でも本命視され、順当な勝ち上がりを見せていた。準々決勝の暁秀高校戦では、苦しみながら逆転勝ちを収めたが、翌日の準決勝では先制した７分に左サイドの鈴木周太がドリブル突破からゴール前に送ったボールを原口祐次郎が押し込み先制点を奪った。だが20分にＦＫから同点にされると、28分にも決められ逆転を許した。そして後半20分に追加点を奪われ、サイドを起点に何度も相手ゴール前に詰め寄る藤枝明誠だが、シュートが打てず。リベンジ、そして決勝進出はならなかった。

「プリンスリーグに向けて課題ができた」と話す田村和彦監督。次は全日本ユース選手権出場を目指して、６月13日に再開したプリンスリーグ後半戦に期待したい。

決勝に残ったのは、ポジションバランスを保ちながら、ダイレクトプレーからＦＷでタメを作り、サイド突破を狙う清水商業高校と、最終ラインをマンマーク＋１カバーでリスクマネージメントしながら、高い個人技によるドリブルを武器に攻撃する静岡学園高校。いずれも素早い攻守の切り替えと攻守における１対１の強さ、それにゴール前での冷静判断と正確な技術を持っていた。

今大会では、中西部のチームが決勝に立つことはできなかったが、素早く攻守が切り替わる中で、動きながらかつ競り合いながら正確にプレーできる技術、どのエリア、どの状況で、どんなプレーが求められるのかといった戦術的な理解、更にそれらをコンスタントに発揮する精神面・体力面をより向上させ、選手権での巻き返しを期待したい。

平成21年度 静岡県高校総合体育大会 男子サッカー

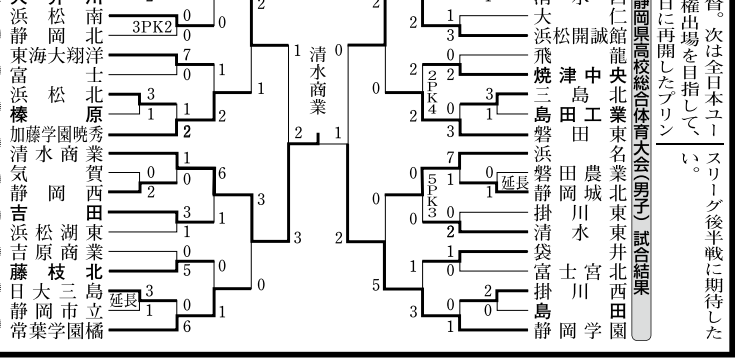
藤枝明誠 5年ぶりの3位入賞


藤枝明誠 VS 清水商業

増田浩史がヘッドで決めて終盤の畳み掛けで逆転に成功。５年ぶりの準決勝に駒を進めた。

準決勝の相手は、昨年の高校選手権県大会２次リーグ、新人戦準決勝と続けて破れている清水商業。前半

静岡県高校総合体育大会（男子）試合結果



新たな挑戦

NPO藤枝東FCジュニアユース
U-15担当
鈴木　將史

～新しい歴史の一ページに向かって～

今回、クラブの日本一を決定する日本クラブユース選手権静岡県大会で３位という成績を収め、全国大会出場を決定する東海大会の挑戦権を得ることができた。選手全員が本当によく頑張った成果が出たのではないかと思う。

私が藤枝東FCジュニアユースでお世話になってから３年目になる。今担当しているU－15の選手たちと同じだ。この年代のさまざまな面での成長には本当に驚かされる。

この選手たちを担当し、私はまず、トレーニングの内容や質をどうこうするよりも選手自身の意識の改革に目を向けた。なぜならこの年代でよく言われているさまざまな面での成長の速さが、意識の持ち方と切っても切り離せないのではないかと考えたからだ。

そこでチームと個人に目標を持たせ、その目標達成のためにトレーニングに集中させること、コンプレックスを払拭させることなどを意識させることに取り組んだ。すぐに結果として現れなかったが、徐々にどんなトレーニングをしても無駄が少しずつ無くなっていったのである。

私は、トレーニングの内容ではなく、選手をどう意識付けしていくかによって質が変わり、選手の成長が変わってくるのではないかということに少しずつ手応えを感じている。だが、忘れてはならないのは同時に、私自身も常にトレーニングの内容や質を少しでも良いものにしていくことだ。

藤枝東FCジュニアユースが発足して８年目を迎えている。東海大会に向け、主役である選手にもう一度奮起を促し、立ち向かう勇気を持って全国大会という新しい歴史の一ページに挑みたいと思う。

中西部
ヤングサッカーニュース
2009 7
発行責任者／㈶静岡県サッカー協会中西部支部支部長　杉本直己　　企画構成編集責任者／滝本義三郎
中西部支部ホームページアドレス　　http://www3.tokai.or.jp/sfa-chusei/

藤枝順心 6連覇 全国切符獲得



東海地区予選

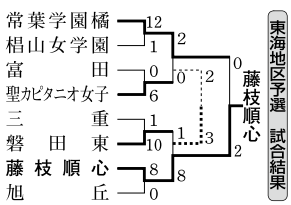
全日本高校女子選手権東海地区予選は6月27日、28日に愛知県豊田市で行われ、4県の代表8校がトーナメント戦で争った。全国大会出場は4校。全国切符がかかった1回戦で藤枝順心は愛知2位の旭丘と対戦し前半に7得点。後半も1点を加えて8対0の大勝で、6年連続の全国行きを決めた。

準決勝では磐田東に8対1で快勝し、決勝に進出した藤枝順心は常葉学園橘と対戦。素早い囲い込みでボールを奪い、積極的なサイドの攻め上がりなどで優位に進める。相手にドリブル突破を許しても、GK梅村南の飛び出しで止めるなど堅守を見せた。そして前半28分にゴール前で繋いで、高畑結が左足を振り抜きゴールネットを揺らして先制。後半7分にも高畑がDFと競ってこぼれたボールを村山百花が蹴り込み突き放した。2対0で勝利した藤枝順心は、県総体決勝の雪辱を果たし、東海6連覇を遂げた。

「前からプレスを掛け、相手の自由を奪うことができた」と多々良和之監督。全国では「もっとアグレッシブに守備から攻撃につなげたい」と話す。

競う。6年連続出場となる藤枝順心は、勝ち進めば2回戦で、3年連続の対戦で昨年はPK戦にまで至った関東3位の日本航空と、準々決勝では関東1位の強豪、湘南学院との対戦が予想され、手強い相手が続く。3年ぶりの全国制覇を目指して全力で頑張ってほしい。

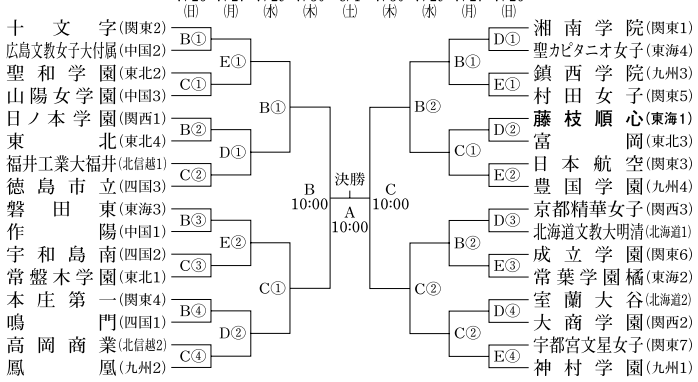
東海地区予選 試合結果



目指せ全国制覇！
藤枝順心　6年連続出場

東海地区予選を勝ち抜いた藤枝順心が出場する全日本高校女子サッカー選手権大会は、7月26日から8月1日まで磐田市で開催される。出場32校がトーナメント戦で争い、高校女王の座を

全日本高校女子サッカー選手権大会　組み合わせ



＜会場＞A：ヤマハスタジアム　B：ゆめりあサッカーグラウンド　C：ゆめりあ多目的グラウンド
D：竜洋スポーツ公園　E：磐田市営陸上競技場
＜時間＞7/26＝①9：00　②11:15　③13:30　④15:45　7/27･29＝①9：30　②12:30

長谷部誠 選手
北村正平藤枝市長を表敬訪問
ドイツリーグ優勝とW杯日本代表出場を報告

藤枝市出身で日本代表の長谷部誠選手（ボルフスブルク・ドイツ）が6月22日、北村正平藤枝市長を表敬訪問し、所属チームのブンデスリーグ優勝と、日本代表のワールドカップ出場権獲得を報告した。北村市長が「藤枝にとって期待の星。応援している」とエールを送れば、長谷部選手も「応援がパワーになっている。もっと頑張り、藤枝がサッカーのまちということを、もっとアピールしていきたい」と答えた。

また、この日の会見で長谷部選手は「ワールドカップは夢の場所だったが、今は手に届く所にある。メンバーに選ばれるために、これからの一年が勝負になる。フィジカル、テクニック、精神的な部分と、全ての面でレベルアップしていきたい。世界と戦えるピッチに立てるようになるよう頑張りたい」と決意を語った。



第18回 全日本高校女子サッカー選手権大会

第33回 全日本少年サッカー大会
静岡県大会

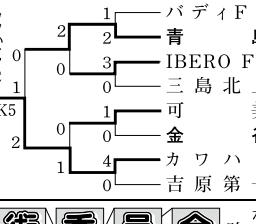
青島SS 第3位
グッドマナー賞受賞

全日本少年サッカー大会静岡県大会が6月20日、21日に藤枝総合運動公園陸上競技場と藤枝市民グラウンドで行われた。中西部からは相良、金谷、青島の3チームが出場。その中で青島が準決勝に進み、優勝したカワハラに敗れたが、3月のしずぎんカップ静岡県ユースU-11大会に続く第3位となった。また青島はグッドマナー賞も受賞した。



2回戦でLIBERO FCに、前半早々の大石直輝と澤本悠希の2ゴールで勝利し準決勝に勝ち上がった青島は、カワハラと対戦。開始3分にクロスボールをボレーシュートで決められ先制を許す。青島も左サイドのスペースを使いクロスをあげるが、詰めを欠きシュートを打ちきれない。すると10分に追加点を奪われ、2点のビハインドで後半へ。立ち上がりの攻勢時にゴールを決められず、そのまま終了。決勝進出とこの大会が兼ねるフジパンCUP・U-12大会の東海大会出場を逃した。

試合結果



新たな挑戦
ボルフスブルク 日本代表 長谷部　誠
～長谷部誠選手からのメッセージ～

新たなシーズンに向けてドイツで始動した長谷部誠選手（ボルフスブルク）からメッセージが届いた。

中西部地区の皆さんこんにちは。WOLFSBURGの長谷部誠です。

昨シーズンは僕にとって、大きな喜びを得る事が出来たシーズンでした。ドイツブンデスリーグで優勝する事ができ、日本代表ではワールドカップ出場権を獲得できました。

改めて振り返ると、良かった事ばかりに見えますが、シーズン中ずっと良かった訳ではありません。試合に出られない時期もありましたし、人生初の手術を受け、その後なかなか痛みが取れずに悩んだ時期もありました。ただ、そういう事もあり、それを乗り越え喜びも大きくなったと思います。

藤枝をはじめ中西部地区の皆さんには、本当に沢山の応援を頂き感謝しています。皆さんの応援は僕の力になりますし、もっともっと頑張らなければ、という気持ちにさせてもらっています。

来シーズンは、ワールドカップにチャンピオンズリーグとなかなか経験出来ない夢の場所に挑戦出来ます。中西部の代表として頑張っていきたいと思いますので応援宜しくお願いします。

技術委員会
㈶静岡県サッカー協会 中西部支部4種技術委員長 渡邉　啓介
全日本少年サッカー県大会を振り返って

6月20日、21日に第33回全日本少年サッカー大会県大会が行われました。この大会は16チームのトーナメント形式で行われ中西部支部からは青島・相良・金谷の3チームが出場しました。

昨年この誌面をお借りし、全日本少年サッカー大会事で改善が見込まれると思います。②については次のトレーニングから選手に意識を徹底させ継続していく事で改善が見込まれると思います。①については、両足を使える（使おうとする）選手が少ない事、②次のプレーを意識したコントロールのできる選手が少ない事です。今大会をみてもこの2点を課題として挙げざるをえないと感じました。①については普段のトレーニングから選手に意識を徹底させ継続していく事で改善が見込まれると思います。②については次のプレーを意識する前に止める技術が備わっているか考えなければならないと思います。プレッシャーの無い状態でのボールストップは上手にできる選手が多いでしょう。しかし試合中は相手のプレッシャーが強くなります。浮いているボールをコントロールしきれずそのまま処理したり、相手に奪われたりする場面が数多く見られました。

我々指導者はドリルを組込みながら、常に試合と同じようにプレッシャーを受けた状態でのトレーニングをオーガナイズし実践していく必要があると思います。ゴールを奪うため・ゴールを守るため、両足が使えプレッシャーの中でも次のプレーを意識したコントロールができる選手を育成し、3種に繋げていかなければならないと感じています。

中西部
ヤングサッカーニュース
2009 8
発行責任者／㈶静岡県サッカー協会中西部支部支部長　杉本直己　　企画構成編集責任者／滝本義三郎
中西部支部ホームページアドレス　　http://www3.tokai.or.jp/sfa-chusei/

藤枝明誠高校　初の全国大会出場



高円宮杯第20回全日本ユース（U－18）サッカー選手権大会

９月６日に開幕する高円宮杯全日本ユース（U－18）サッカー選手権大会に、藤枝明誠高校が初出場する。全国９地域のプリンスリーグを勝ち上がった代表20チームに、全国高校総体と日本クラブユース選手権（U－18）の優勝及び準優勝の２チームずつを合わせた24チームが参加して、６組に分かれて１次ラウンドのリーグ戦を行う。そして各組の上位２チームと３位の中の成績上位４チーム、計16チームが決勝トーナメント戦に進む。１次ラウンドは９月６日、13日、19日の３日間で争われる。決勝トーナメントは１回戦が９月21日と23日、準々決勝が10月３日と４日の両日に行われ、準決勝は10日、決勝は12日に実施され、ユース年代の日本一が決定する。

初の全国大会出場となる藤枝明誠には、持てる力を出し切って、優勝を目指して頑張ってほしい。

本支部内２会場で開催

全国各地で開催されるこの大会が、中西部支部内２会場でも実施される。９月６日と13日は藤枝総合運動公園サッカー場で、19日は焼津市営陸上競技場で、それぞれ１次ラウンドの２試合ずつが行われる。試合観戦において、選手、監督、審判員、指導者、フットサル登録選手、日本サッカー後援会員は、登録証やライセンス証、会員証を提示すれば入場可能なので、ユース年代のハイレベルな試合を見るいい機会となる。組み合わせは８月18日に決まるため、本紙ではお伝えできないが、是非、会場に足を運んで熱い戦いを応援しよう。

また、大会運営でも多くの中西部協会関係者が携わる。大会の成功を目指して協力していこう。

中西部会場試合日程（１次ラウンド）		
期　日	会　場	試合開始時間
９月６日㈰	藤枝総合運動公園サッカー場	第1試合　11：00～
９月13日㈰	藤枝総合運動公園サッカー場	第2試合　13：20～
９月19日㈯	焼津市営陸上競技場	

北海道	コンサドーレ札幌ユースU-18	東海	ジュビロ磐田ユース
東北	青森山田高校		静岡学園高校
	三菱養和サッカークラブユース		**藤枝明誠高校**
関東	横浜Ｆ・マリノスユース	中国	サンフレッチェ広島ＦＣユース
	東京ヴェルディユース		広島観音高校
	桐光学園高校	四国	愛媛ＦＣユース
	流通経済大柏高校	九州	東福岡高校
	浦和レッドダイヤモンズユース		大分トリニータU-18
	ジェフユナイテッド市原・千葉U-18	高校	前橋育英高校
北信越	星稜高校	総体	米子北高校
関西	ヴィッセル神戸ユース	クラブ	セレッソ大阪U-18
	大阪桐蔭高校	ユース	ＦＣ東京Ｕ－18

ＪＦＡプリンスリーグU－18東海2009　１部

プリンスリーグU－18東海は７月11日に全日程を終了し、藤枝明誠高校が３位となり、高円宮杯全日本ユース（U－18）サッカー選手権大会の出場権を獲得、初の全国大会出場を決めた。

前半戦を首位で折り返した藤枝明誠は、県高校総体を挟んで再開後の第６節で磐田東との接戦（４対３）を制して首位をキープ。続くジュビロ磐田戦ではセットプレーからの２失点で初黒星を喫し、ジュビロ磐田と静岡学園に勝点16で並ばれ得失点差で３位に後退するも、高円宮杯出場圏内（上位３チーム）にとどまる。そして、第８節で清水商業に前半に得点を重ねて４対２で勝利。この日、４位についていた名古屋グランパスが静岡学園に敗れて、最終節を待たずに藤枝明誠の３位以内が確定し、総体、選手権を含めても初となる全国切符を手にした。さらに最終節も四日市中央工業に４対０の快勝でリーグを締め括った。

順位	１部	勝	分	負	勝点	得点	失点	得失差
1	ジュビロ磐田ユース	7	1	1	22	25	3	22
2	静岡学園高校	7	1	1	22	22	7	15
3	**藤枝明誠高校**	**7**	**1**	**1**	**22**	**23**	**10**	**13**
4	名古屋グランパスU-18	4	1	4	13	12	13	-1
5	清水商業高校	4	0	5	12	22	21	1
6	清水エスパルスユース	3	2	4	11	18	14	4
7	四日市中央工業高校	3	2	4	11	17	22	-5
8	常葉学園橘高校	2	3	4	9	9	21	-12
9	**藤枝東高校**	**1**	**1**	**7**	**4**	**8**	**20**	**-12**
10	磐田東高校	0	2	7	2	7	32	-25

※下位２チームは２部に降格

第39回 全国自治体職員サッカー選手権大会

藤枝市役所　準優勝



７月25日から29日まで群馬県前橋市で行われた全国自治体職員サッカー選手権大会で、藤枝市役所は決勝で東京消防庁に２対３で敗れ、準優勝となった。

初戦でいわき市役所に７点を奪い大勝した藤枝市役所は、２回戦で宮崎県庁に前半の２得点で勝利。３回戦は浜松市役所との県勢対決となり、今大会初の失点を喫するも、７対１で圧勝した。釧路市役所との準決勝は、前半に杉山和弘が４得点。後半も後藤純一と松浦寿彰のゴールで加点し、快勝で決勝に駒を進めた。

決勝の相手は５年連続同カードとなる東京消防庁。前半に２点を失うも後半に反撃。22分に岡村庄太の折り返しを河村憲生が頭で押し込むと、終了間近の34分に河村のクロスを杉山がヘッドでゴール右隅に流し込み追いついた。だが、直後のロスタイムに混戦から勝ち越し点を奪われ惜敗。創部50周年を優勝で飾ることはできなかった。

試合結果

〈１回戦〉藤枝市役所　７－０　いわき市役所
〈２回戦〉藤枝市役所　２－０　宮崎県庁
〈３回戦〉藤枝市役所　７－１　浜松市役所
〈準決勝〉藤枝市役所　６－０　釧路市役所
〈決勝〉東京消防庁　３－２　藤枝市役所

新たな挑戦

島田市サッカー協会
技術委員長
紅林　豊

～種別を越えた指導者の連携～

島田市サッカー協会４種少年委員会では、３年前からに取り組んできたことがあります。それはトレセンを通じた「指導者の連携とレベルアップ」です。各少年団から技術委員・トレセン委員を選出し、必ずトレセン指導に加わってもらいます。こうして集まったトレセン指導者が日々のトレーニングで指導実践を積み重ねています。効果的なトレーニングメニューや子どもへのアプローチの仕方など他の団の指導者から学ぶことも多く、毎年トレセンに新しい指導者が加わっています。選手はもとより、指導者もレベルを上げるステージとして積極的にトレセン活動に関わり、そこでの経験を各少年団に広げていくことで、島田市全体のジュニア育成のレベルをあげることを狙いとしています。

小学生のトレセンをきっかけに生まれてきた指導者の横の連携を、縦軸にもシフトし中学、高校との連携を作り出していくことがこれからの課題です。そこで、４月から中学生のトレセンと小学生トレセンをスタッフ交流により連携させ、U－15における一貫した指導体制づくりに取り組み始めました。７月には小、中、高校生合同のGK講習会も開催し、今後は小学生と中学生、中学生と高校生の定期的なトレーニングマッチを取り入れ、選手育成に取り組んでいきます。「サッカーを通じて活躍できる人間を地域からたくさん育てていこう！」この思いを地域の指導者が共有しながら連携し、子ども達とともに成長していければ最高です。

日本スポーツマスターズ2009富士山静岡大会　サッカー競技

藤枝で開催

富士山静岡大会として９月に県内各地で開催される日本スポーツマスターズのサッカー競技が、19日から22日まで藤枝市で行われる。藤枝総合運動公園サッカー場と同陸上競技場に、藤枝市民グラウンドの３会場で熱戦が繰り広げられる。

静岡県選抜と藤枝ＦＣが出場

40歳以上の選手が対象となるこの大会。全国９地域の代表15チームに開催地の１チームを合わせた16チームが参加。東海代表で中西部の選手が多数選出されている静岡県選抜と、開催地枠で藤枝ＦＣが出場する。

試合は、１次ラウンドが４組に分かれてリーグ戦で争われ、各組の１位４チームが決勝トーナメントに進む。静岡県選抜と藤枝ＦＣには、決勝対決を目指して頑張ってほしい。

スポーツ教室を実施

日本スポーツマスターズ開催期間の９月19日に藤枝総合運動公園サッカー場で、元Ｊリーガーの北澤豪氏を講師に招いてスポーツ教室を実施する。11時30分からの１時間で、中西部支部内の小学６年生100名ほどを対象に、U－12における基本技術（トラップ・パス・ドリブル）のトレーニングを行う予定。

ブロック分け			
Aグループ	藤枝ＦＣ	Cグループ	静岡県選抜
	広島フォーティーズ		箕面ホーリン
	福岡とびうめ＆三宅シニア		マリソル松島タック40
	FCプリメーロ福島レジェンド		宮崎県選抜
Bグループ	山梨マスターズ	Dグループ	アルフット安曇野シニア
	ＦＣ・上越マスターズ		羊ヶ丘オールドキッカーズ2002
	徳島マスターズ		大洲40ＦＣ
	兵庫県シニア40選抜		ＦＣ船橋

決勝トーナメント組み合わせ

9/22㈷
A１
サ 10:00
B１
C１
陸 10:00
D１
サ 13:00

<会場>
サ：藤枝総合サッカー場
陸：藤枝総合陸上競技場
民：藤枝市民グラウンド

１次ラウンド 静岡県勢の試合日程			
期日	時間	対　戦	会場
9/19㈯	10:00	**藤　枝　Ｆ　Ｃ**－広島フォーティーズ	民
	10:00	**静岡県選抜**－箕面ホーリン	サ
9/20㈰	11:30	**藤　枝　Ｆ　Ｃ**－FCプリメーロ福島レジェンド	陸
	13:00	**静岡県選抜**－宮崎県選抜	陸
9/21㈷	10:00	**静岡県選抜**－マリソル松島タック40	民
	11:30	**藤　枝　Ｆ　Ｃ**－福岡とびうめ＆三宅シニア	サ

中西部
ヤングサッカーニュース
2009 9
発行責任者／(財)静岡県サッカー協会中西部支部支部長　杉本直己　　企画構成編集責任者／滝本義三郎
中西部支部ホームページアドレス　　http://www3.tokai.or.jp/sfa-chusei/

静岡ゴールデンサッカーアカデミー2009
アルゼンチン人コーチ招き講習会実施
中西部内で８日間開催

昨年度まで行われた静岡世界少年サッカー大会に替わり、県内の指導者の意識改革や資質向上などを目的に、アルゼンチンからテクニカルアドバイザーとしてミゲル・アンヘル・ミコー氏を招いての講習会「静岡ゴールデンサッカーアカデミー」が、７月１日～８月31日の２か月間に亘り、県内各地で開催された。指導者だけでなく、選手や保護者も対象に行われた。

中西部では３種と４種の選手と指導者を対象に、選手にはサッカー教室、指導者は実技指導として、８月２日、４日～６日、20日～23日の８日間で計11回、藤枝総合運動公園サッカー場で実施された。常に敵の選手を意識してのトレーニングで、パスしたらフリースペースへすぐに動くことや、まずはゴールを意識することなど、様々な工夫をこらした内容が実践された。終了後にもミコー氏に質問をする指導者もいて、参加者の熱意が感じられた。

※関連記事「新たな挑戦」



国民体育大会 第30回東海ブロック大会 サッカー競技
少年男子が本大会出場

国民体育大会の東海ブロック大会が８月15日、16日に磐田市で行われた。静岡県は少年男子が本大会の出場権を獲得した。

少年男子

６月７日から行われた東海U－16リーグを国体予選として、４県の総当たり２回戦で争われた。静岡は前半戦３試合を２勝１敗として、愛知に続く２位で折り返した。８月14日から16日まで磐田市で実施された後半戦は、まず岐阜に後半に得点を重ねて４対１で勝利。三重には前半に先手を許すも、後半に逆転し２連勝した。最終戦は名古屋グランパスの選手中心の愛知に、前後半に１点ずつを奪われ惜敗したが、トータルで２位となり、本大会出場を決めた。

中西部の選手では高嶋知広と荒木慎平（共に藤枝東高校１年）が、ボランチとサイドハーフで前半戦と後半戦の両方に出場。前半戦には太田充彦（藤枝東高校１年・DF）も出場し、本大会出場に貢献した。


少年男子 静岡 VS 岐阜

	愛知県	静岡県	三重県	岐阜県	勝点	得失差	順位
愛知県		○4－1 ○2－0	○7－0 ○5－1	○2－0 ○4－0	18	22	1
静岡県	●1－4 ●0－2		○4－1 ○2－1	○5－1 ○4－1	12	6	2
三重県	●0－7 ●1－5	●1－4 ●1－2		●1－2 ○2－0	3	－14	3
岐阜県	●0－2 ●0－4	●1－5 ●1－4	○2－1 ●0－2		3	－14	4

※３・４位は総得点による　　試合結果

女子

初戦で愛知県選抜と対戦した静岡県選抜は、長谷川絵梨のCKから６分、９分と続けてゴールを奪い主導権を握る。さらに２点を加えて折り返した後半にも、15分に長谷川のCKを杉山紫乃が決めると、29分には長澤まどかのクロスから加点し、大量６点を奪って快勝した。

代表決定戦は、Lリーグの伊賀FCくノ一で選手を固める三重県が相手。これまでは点差をつけられての敗戦が多かったが、この日は違った。前線からプレスをかけ対等の展開に。19分には佐野弘子のパスを受けた中島未来が決めて先取点を奪い、27分に同点とされるも、１対１で前半を終える。後半にも決定的な場面を作り出すが、シュートのタイミングが合わなかったりで突き放せず、試合は延長戦へ。そして延長後半５分にCKを頭で合わされ、決勝弾を決められ惜敗した。

〈１回戦〉試合結果
静岡県 ６－０ 愛知県
〈代表決定戦〉
三重県 ２－１ 静岡県
延長

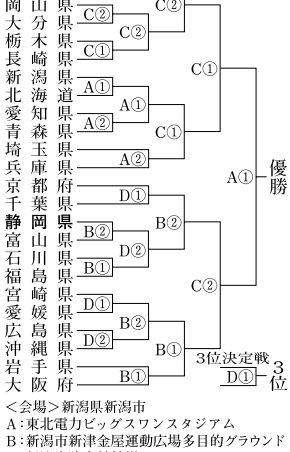
女子　静岡県選抜の中西部勢		
位置	氏　名	登録チーム
ＤＦ	杉山　紫乃	清水ＦＣ女子(藤枝順心高出身)
ＤＦ	佐野　弘子	島田ブリンセス
ＭＦ	寺田　玲子	静産大磐田レディース(藤枝順心高出身)
ＭＦ	長谷川絵梨	イカイＦＣレディース(藤枝順心高出身)
ＭＦ	長澤まどか	静産大磐田レディース(藤枝順心高出身)


女子 静岡 VS 愛知

第64回 国民体育大会（新潟国体） サッカー競技
目指せ優勝！ 中西部勢の活躍に期待

UI－16静岡県選抜が出場する新潟国体サッカー競技の少年男子の部は、９月27日から10月１日まで行われる。静岡県選抜は２００４年の埼玉国体以来、UI－16としては初の優勝を目指す。

少年男子　組み合わせ


9/27(日) 9/28(月) 9/29(火) 9/30(水) 10/1(木)
C① C② C② C① A① A① C① A② A② D① B② D② B① C② D① B② D② B① B① 3位決定戦 D① 3位
優勝
神奈川県 知山分木崎潟海知森玉庫都葉岡山川島崎媛島縄手阪 静富石福宮愛広沖岩大
高岡大栃長新北愛青埼兵京千 静
県県県

中西部
ヤングサッカーニュース
2009 10
発行責任者／㈶静岡県サッカー協会中西部支部支部長　杉本直己　企画構成編集責任者／滝本義三郎
中西部支部ホームページアドレス　http://www3.tokai.or.jp/sfa-chusei/

日本スポーツマスターズ2009 富士山静岡大会 サッカー競技
静岡県選抜が２連覇！

40歳以上の選手が出場する日本スポーツマスターズのサッカー競技は、９月19日から22日まで藤枝市で行われ、東海予選を勝ち抜いて出場した静岡県選抜が、２連覇を果たした。

中西部勢11名が選出された静岡県選抜は１次ラウンドのリーグ戦３試合を全勝し、グループ１位で決勝ラウンドのトーナメント戦に進んだ。準決勝では大洲40FC（愛媛県）と対戦し、開始２分に及川浩二のスルーパスでゴール前に抜け出した吉川広三郎が決めて先取点を奪う。主導権をにぎり攻勢を続ける静岡は、追加点こそ奪えなかったが、この１点で決勝へ駒を進めた。決勝は昨年と同じ広島フォーティーズが相手。ボール際の激しい攻防をみせ、互いに得点なく試合は進んだ。そして後半７分に吉川の折り返しを安間和仁が押し込み遂に均衡を破った静岡が、終盤の広島の反撃を跳ね返して逃げ切り、今大会無失点で優勝に花を添えた。

地元開催に「プレッシャーがあったが、実力通りの結果が出せてよかった」と種本哲也監督は安堵の表情を見せた。



静岡県選抜が出場した全国大会の舞台で快進撃を見せた。９月６日から10月12日まで行われた高円宮杯全日本ユース（U－18）サッカー選手権大会で、藤枝明誠は１次ラウンドをグループ１位で突破し、決勝トーナメントに進出。大阪桐蔭高校を延長戦の末に破り準々決勝にまで進んだ。サンフレッチェ広島FCユースには惜敗したが、ベスト８入りと健闘した。

静岡県選抜選手名

位置	氏名	所属シニアチーム
GK	岩ケ谷佳史	藤枝東FCシニア
GK	福与　久信	藤枝東FCシニア
DF	前島　祥彦	焼津飛魚SC
DF	尾白　幸生	藤枝FC
DF	谷沢　正	藤枝東FCシニア
DF	種本　哲也	藤枝東FCシニア
MF	川村　剛之	藤枝東FCシニア
MF	日下部　充	藤枝FC
MF	藤野　大	藤枝FC
FW	吉川広三郎	藤枝FC
FW	平口　一利	藤枝東FCシニア

運営に中西部シニア関係者奔走

日本スポーツマスターズは今年、富士山静岡大会として県内で様々なスポーツが開催された。藤枝市で行われたサッカー競技では、地元中西部シニアチームの藤枝FC、焼津飛魚SC、藤枝東FCの関係者がスタッフとなり、４日間の運営に奔走した。

決勝ラウンド試合結果

静岡県選抜 1 1 1 0 大洲40FC（愛媛県）
静岡県選抜 0 1 1 4PK3 広島フォーティーズ
兵庫県シニア40選抜

１次ラウンド試合結果（静岡県勢のグループのみ）

Aグループ	藤枝	広島	福岡	福島	勝点	得失差	順位
藤枝フットボールクラブ		●1-2	●1-2	△1-1	1	-2	3
広島フォーティーズ	○2-1		△1-1	○4-0	7	5	1
福岡とびうめ＆三宅シニア	○2-1	△1-1		○4-1	7	4	2
FCプリメーロ福島レジェンド	△1-1	●0-4	●1-4		1	-7	4

Cグループ	静岡	箕面	松島	宮崎	勝点	得失差	順位
静岡県選抜		○1-0	○4-0	○2-0	9	7	1
箕面ホーリン	●0-1		●0-2	●0-3	0	-6	4
マリソル松島タック40	●0-4	○2-0		○1-0	6	-1	2
宮崎県選抜	●0-2	○3-0	●0-1		3	0	3



藤枝FCが出場

開催地枠で昨年度の県シニア40リーグ優勝の藤枝FCが出場した。県選抜に４選手を送り出した藤枝FCは、残念ながら１次ラウンドを突破することはできなかった。

日本スポーツマスターズ富士山静岡大会にご臨場された、㈶日本サッカー協会名誉総裁の高円宮妃久子殿下が、９月19日に藤枝総合運動公園サッカー場にお越しになった。大仁邦彌日本サッカー協会副会長や桑原勝義静岡県サッカー協会副会長などがお迎えし、静岡県選抜と箕面ホーリンの試合をご観覧になった。ご到着時には、藤枝中央サッカースポーツ少年団の子供たちも駆けつけ、国旗の小旗を振るなどして歓迎した。

高円宮妃殿下ご観覧



北澤豪氏がサッカー教室

日本スポーツマスターズ初日の９月19日に藤枝総合運動公園サッカー場で、元日本代表の北澤豪氏によるサッカー教室が開かれた。中西部内の６年生97人が参加して、元気に取り組んでいた。練習で北澤氏は、グループ対抗で競わせるなどして子供たちの意欲を盛り上げたり、ゲーム形式の練習では子供たちの中に入り、得意のドリブルを見せたりと、飽きない１時間だった。



高円宮杯 第20回 全日本ユース（U－18）サッカー選手権大会
藤枝明誠高校　初の全国大会で健闘の８強入り



１次ラウンド　グループ１位で突破

地元、中西部で実施された藤枝明誠の１次ラウンド３試合。多くの応援の中、初の全国の緊張も見せず、初戦は星稜高校に４対０と快勝した。開始早々の４分に安東大介がＤＦ裏に抜け落ち着いて決めて先制すると、21分にはＣＫを増田浩史が頭で合わせて２点目をゲット。後半も２分に安東、ロスタイムには岩田直康のゴールで駄目を押した。

青森山田高校との２戦目は、パスが繋がらず前半に２失点。後半は攻勢を仕掛けるがシュートは枠を外れ、逆に12分に追加点を許す。21分に飯塚祐樹のゴールで１点を返すも、ロスタイムに４点目を奪われ敗れた。

３戦目の相手はジェフユナイテッド千葉。一進一退の攻防の中、前半20分に小川哲生のＣＫからこぼれ球を向田将悟が押し込み、先取点を奪った。

その後

中西部
ヤングサッカーニュース
2009 11
発行責任者／(財)静岡県サッカー協会中西部支部支部長　杉本直己　企画構成編集責任者／滝本義三郎
中西部支部ホームページアドレス　http://www3.tokai.or.jp/sfa-chusei/

第44回 東海社会人サッカーリーグ1部

10月11日に全日程を終了した東海社会人リーグ1部で、矢崎バレンテFCが5年ぶりの優勝を飾った。

矢崎バレンテFCは第8節で暫定首位の浜松大学FCを破り、その浜松大学FCに消化試合が2試合少ないながら勝点1差で2位につける浜松大学FCが先に試合を行い、勝点3を得て一旦は首位に立つ。しかし、矢崎バレンテも翌週の試合で静岡FCを破ってキッチリ勝点3を積み上げ、未消化の1試合を残して優勝を決めた。さらに最終試合も藤枝市役所との中西部対決を制して有終の美を飾った。

以後、トップの座を守った矢崎バレンテだが、2週にわたって行われた最終14節で、勝点1差で2位につける浜松大学FCが先に試合を行い、勝点3を得て一旦は首位に立つ。しかし、矢崎バレンテも翌週の試合で静岡FCを破ってキッチリ勝点3を積み上げ、未消化の1試合を残して優勝を決めた。さらに最終試合も藤枝市役所との中西部対決を制して有終の美を飾った。

矢崎バレンテFC 5年ぶりの優勝



東海社会人リーグ１部 最終成績

順位	チーム名	勝	分	負	勝点	得失差
1	矢崎バレンテＦＣ	10	2	2	32	24
2	浜松大学ＦＣ	9	1	4	28	20
3	静岡ＦＣ	7	3	4	24	8
4	藤枝市役所	6	2	6	20	2
5	中京大学ＦＣ	6	2	6	20	0
6	マルヤス工業	5	2	7	17	-8
7	トヨタ蹴球団	3	1	10	10	-16
8	コニカミノルタSC豊川	3	1	10	10	-30

JFL昇格を目指す 全国地域リーグ決勝大会出場

第33回 全国地域サッカーリーグ決勝大会

東海社会人サッカーリーグで優勝した矢崎バレンテFCが、日本フットボールリーグ（JFL）昇格を目指して、全国地域サッカーリーグ決勝大会に出場する。全国９地域の各社会人リーグや全国社会人サッカー選手権大会で上位となった16チームが参加するこの大会。１次ラウンドは11月21日から23日まで富山県高岡市などで行われ、４組に分かれてリーグ戦で争われる。そして、各組の１位４チームが12月４日～６日に長野県松本市で実施される決勝ラウンドに進む。決勝ラウンドもリーグ戦で行われ、上位２チームがＪＦＬへ自動昇格し、３位がＪＦＬ下位チームとの入替戦に臨む。

グループ分け

Aグループ	Ｇｒｕｌｌａ盛岡	（東　北）
	札　大　Ｇ　Ｐ	（北海道）
	NTN岡山(株岡山製作所サッカー部	（中国２）
	NPO横浜スポーツ&カルチャークラブ	（関東１）
Bグループ	日立栃木ウーヴァスポーツクラブ	（関東２）
	ＪＡＰＡＮサッカーカレッジ	（北信越）
	Ａ Ｓ．ラ ラ ン ジ ャ 京 都	（関西２）
	矢崎バレンテフットボールクラブ	**（東海１）**
Cグループ	沖縄かりゆしFootball Club	（九州１）
	REONFA YAMAGUCHI FC	（中国１）
	松本山雅フットボールクラブ	（社会人１）
	浜　松　大　学　Ｆ　Ｃ	（東海２）
Dグループ	ツ　ェ　ー　ゲ　ン　金　沢	（社会人２）
	徳島ヴォルティス・セカンド	（四　国）
	ヴ　ォ　ル　カ　鹿　児　島	（九州２）
	三洋電機洲本サッカー部	（関西１）

１次ラウンド 矢崎バレンテＦＣの試合日程

期日	時間	対戦相手
11/21(土)	13:15	Ａ Ｓ．ラ ラ ン ジ ャ 京 都
11/22(日)	13:15	ＪＡＰＡＮサッカーカレッジ
11/23(祝)	11:00	日立栃木ウーヴァＳＣ

＜会場＞　高岡スポーツコア（富山県高岡市）

決勝ラウンド試合日程

期　日	時間	対　戦
12/4 (金)	11:00	Ａ １ 位 － Ｂ １ 位
	13:15	Ｃ １ 位 － Ｄ １ 位
12/5 (土)	11:00	Ａ １ 位 － Ｃ １ 位
	13:15	Ｂ １ 位 － Ｄ １ 位
12/6 (日)	11:00	Ａ １ 位 － Ｄ １ 位
	13:15	Ｂ １ 位 － Ｃ １ 位

＜会場＞
総合球技場アルウィン（長野県松本市）

第31回 全日本女子サッカー選手権大会



第32回 東海女子サッカー選手権大会

第31回 全日本女子サッカー選手権大会東海予選

藤枝順心高校 東海大会優勝 2年ぶりの全国大会出場

全日本女子サッカー選手権大会の予選を兼ねる東海女子サッカーリーグ選手権大会は、10月24日、25日の両日に岐阜県で行われ、藤枝順心高校が優勝を果たし、２年ぶりの全国行きを決めた。

東海地域の全国大会枠は２チーム。初戦に大勝した藤枝順心は、出場権がかかった準決勝で名古屋ＦＣレディースと対戦した。前半16分に高畑結のCKからクリアボールを左山桃子が頭で押し込み先制。後半３分には村山百花が決めてリードを広げ、相手のシュートを１本に抑えて快勝した。

ともにメンバーを入れ替えて臨んだ常葉学園橘高校との決勝は、互いに決定機を作れず折り返した。後半は、相手ゴール近くでパスがつながりリズムを掴む。そして24分に高畑が蹴り込んで奪った１点で勝利を決めた。

試合結果

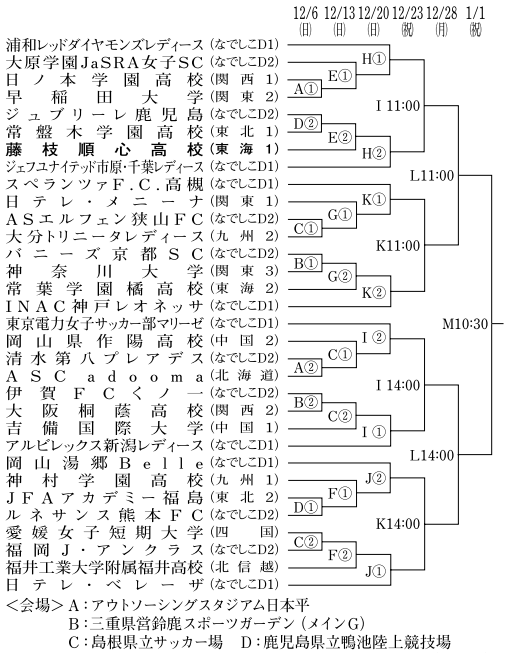
豊田レディースＦＣ 3-2
楠クラブレディース 0-0
ＦＣ岐阜ベルタ 3-0
常葉学園橘高校 0-6
藤枝順心高校 7-0
JUVEN.F.C.FLOR 0-2
伊賀ＦＣフロイライン 0-1
名古屋ＦＣレディース 4PK5 0-0

藤枝順心高校

12月６日に開幕する全日本女子サッカー選手権大会に、藤枝順心高校が２年ぶりに出場する。全９地域の代表16チームに、日本女子サッカーリーグ（なでしこリーグ）所属の16チームも参戦して、32チームがトーナメント戦で争う。20日の３回戦からなでしこリーグ１部のチームが登場し、決勝は２０１０年の元日に国立競技場で、男子の天皇杯に先立って行われる。

なでしこ１部など格上のチームとの対戦が可能なこの大会を、藤枝順心にとって「上へのチャレンジ」とともに、東海大会を経てではあるが、その後に行われる全日本女子ユース（Ｕ－18）選手権大会へ向けた良い準備の機会と位置づける。

全日本女子サッカー選手権大会　組み合わせ



＜会場＞ A：アウトソーシングスタジアム日本平
B：三重県営鈴鹿スポーツガーデン（メインG）
C：島根県立サッカー場　D：鹿児島県立鴨池陸上競技場
E：ユアテックスタジアム仙台　F：レベルファイブスタジアム(福岡市)
G：京都市西京極総合運動公園陸上競技場兼球技場
H：宮城スタジアム　I：Ｊヴィレッジスタジアム
J：岡山県美作ラグビー・サッカー場
K：コカ・コーラウエスト広島スタジアム
L：国立西が丘サッカー場　M：国立競技場

＜時間＞①11：00　②13：30

新たな挑戦

日本スポーツマスターズ
静岡県選抜　監督
種本　哲也

～静岡県選抜３連覇を目指して～

９月19日～22日に、日本スポーツマスターズ２００９富士山静岡大会サッカー競技が、藤枝市で開催され静岡県選抜が優勝することができました。過去全国大会に６回出場して、優勝４回・準優勝１回・３位１回という成績ですが、今回の藤枝市での大会は施設面・運営面において最高の大会であったと思います。

例年、県選抜は２月上旬の選手選考会から活動をスタートします。４回程の選考会で選手を20人に選考し着て戦うプライドと責任感を持っていることを強く感じました。来年は３連覇を行っています。特に練習を試合では、島田工業・静清工業・静岡商業などの高校生のチーム、中西部地区の社会人チームに協力していただいています。

近年シニア年代のチームが増加し、全国的に年々レベルが上がっていく中、本県がマスターズにおいて、毎年好成績を収めている要因は、静岡県シニアリーグの充実と選手がマスターズの県選抜に選考されるよう日頃から努力しているためだと思います。特に選考された選手は、40歳を過ぎてもサッカーに対する熱い情熱と静岡県のユニホームを着て戦うプライドと責任感を持っていることを強く感じました。来年は３連覇を行っています。特に練習を試合では、島田工業・静清工業・静岡商業などの高校生のチーム、中西部地区の少しでも伝えられたら良いと思っています。

2009ナショナルトレセンU-12東海

中西部１名参加

全国９地域に分かれて実施されるナショナルトレセンU-12の東海地域のトレセンが、10月９日から12日まで掛川市つま恋で行われた。静岡県からは16名が参加。中西部勢では青島SSの女子選手、鈴木愛理選手が選出された。



鈴木　愛理
青島SS　６年

中西部
ヤングサッカーニュース
2009 12
発行責任者／㈶静岡県サッカー協会中西部支部支部長　杉本直己　　企画構成編集責任者／滝本義三郎
中西部支部ホームページアドレス　　http://www3.tokai.or.jp/sfa-chusei/

藤枝明誠 初優勝 全国の舞台へ



第88回 全国高校サッカー選手権静岡県大会

全国高校サッカー選手権静岡県大会は決勝が12月６日にエコパスタジアムで行われ、藤枝明誠が清水商業を２対０で破り、初の県制覇を成し遂げ、悲願の全国大会出場を決めた。

特別シードで決勝トーナメントからの参戦となった藤枝明誠は、２年ぶりの決勝に勝ち進んだ。相手は新人戦、総体と準決勝で敗れている清水商業。縦のロングボールを多用した準決勝までと違って、サイドへボールを展開し、サイドバックも積極的に攻撃参加する本来の攻撃スタイルを発揮した藤枝明誠は、34分に安東大介がＤＦを背負いながら出したパスを鈴木周太がダイレクトで決めて先取点を奪う。後半開始40秒には八木勇輔のクロスを原口祐次郎が蹴り込み２点目をゲット。その後も攻撃の手を緩めず、固い守りで相手の攻撃を寸断して、無失点で完勝した。

☆藤枝明誠・田村和彦監督
「優秀な選手が集まっているわけではない。弱者が強者に勝つには引いて守らず、前からボールを追って奪う攻撃姿勢を貫いた成果が出た」

☆藤枝明誠・小川哲生主将
「２年前に悔しい思いをしたが借りを返せた。（全国では）前からアグレッシブに、サイドを起点とした自分達のスタイルを貫いて一戦一戦を戦いたい」

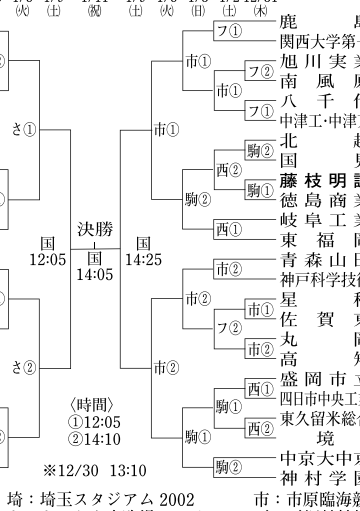
※関連記事２面・「技術委員会」

決勝トーナメント試合結果

藤枝明誠
- 静岡学園 2-1 静岡市立
- 清水商業 2-1 加藤学園
- 清水東 1-3 暁秀
- 常葉学園橋 3-2(延長) 飛龍
- 藤枝東 3-0 浜名
- 静岡西 1-0 藤枝明誠

第88回 全国高校サッカー選手権大会

全国高校サッカー選手権大会は12月30日の開会式で幕を開ける。藤枝明誠の初戦は翌31日、駒沢陸上競技場で徳島商業と対戦する。１月９日の準決勝から舞台は国立競技場となり、決勝は11日に行われる。藤枝明誠には初戦を突破して国立を、そして全国制覇を目指して頑張ってほしい。



＜会場＞国：国立競技場　西：西が丘サッカー場　駒：駒沢陸上競技場
埼：埼玉スタジアム2002　さ：さいたま市駒場スタジアム　フ：フクダ電子アリーナ
市：市原臨海競技場　平：平塚競技場　等：等々力陸上競技場

目指せ!! 全国制覇

最高殊勲選手 ベストイレブン



ＭＦ 小川 哲生 藤枝明誠３年

ベストイレブン



ＭＦ 辻 俊行 藤枝明誠３年
ＤＦ 藤原 賢土 藤枝明誠３年
ＧＫ 甲斐 透真 藤枝明誠３年

優秀ディフェンダー



ＤＦ 増田 浩史 藤枝明誠３年

優秀レフリー



竹田 明弘 静岡市立高校教員（島田市在住）

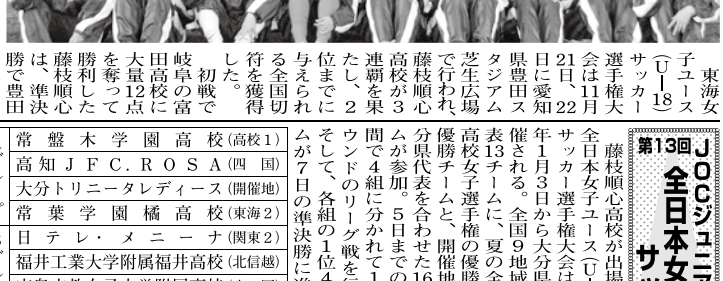


ＭＦ 松下 夏月 常葉橘３年（金谷SS出身）
ＭＦ 鈴木 周太 藤枝明誠３年

第13回 東海女子ユース（U-18）サッカー選手権大会

第13回 全日本女子ユース（U-18）サッカー選手権大会 東海予選

藤枝順心高校 ３連覇 全国切符獲得



東海女子ユース（U-18）サッカー選手権大会は11月21日、22日に愛知県豊田スタジアム芝生広場で行われ、藤枝順心高校が３連覇を果たし、２位までに与えられる全国切符を獲得した。

初戦で岐阜の富田高校に大量12点を奪って勝利した藤枝順心は、準決勝で豊田レディースＦＣと対戦し、前半に３得点、後半にも２点を追加して快勝。決勝に駒を進めた。

決勝の相手は常葉学園橘高校。前線からプレッシャーをかけボールを奪い優位に進める。前半７分に高畑萌子のスルーパスから左山が、15分に中村ゆしかのクロスを高畑が、24分には寛野未恵がＧＫをかわしてゴールを奪い、３点を加えて大勝した。

試合結果

藤枝順心高校
- 名古屋FCレディース 0-6
- 常葉学園橘高校 3-0
- FC岐阜ベルタ 0-3
- 楠クラブレディース 1-0
- 藤枝順心高校 12-0
- 富田高校 0-5
- 伊賀FCフロイライン 1-0
- 豊田レディースFC 2-0

第13回 JOCジュニアオリンピックカップ 全日本女子ユース（U-18）サッカー選手権大会

藤枝順心高校が出場する全日本女子ユース（U-18）サッカー選手権大会は、来年１月３日から大分県で開催される。全国９地域の代表13チームに、夏の全日本高校女子選手権の優勝・準優勝チームと、開催地の大分県代表を合わせた16チームが参加。５日までの３日間で４組に分かれて１次ラウンドのリーグ戦を行う。そして、各組の１位４チームが７日の準決勝に進み、８日に決勝が行われる。前回３位の藤枝順心高校は、まずは昨年以上の成績を、さらには大会初の全国優勝を目指す。

Ａグループ	常盤木学園高校（高校１）
	高知ＪＦＣ．ＲＯＳＡ（四　国）
	大分トリニータレディース（開催地）
Ｂグループ	常葉学園橘高校（東海２）
	日テレ・メニーナ（関東２）
	福井工業大学附属福井高校（北信越）
Ｃグループ	広島文教女子大学附属高校（中　国）
	神村学園高等部（高校２）
	藤枝順心高校（東海１）
	北海道文教大学明清高校（北海道）
Ｄグループ	福島県立富岡高校（東北２）
	鳳凰高校（九州１）
	浦和レッドダイヤモンズＪＹレディース（関東１）
	日ノ本学園高校（関西）
	ＨＯＹＯスカラーＦＣ（九州２）
	聖和学園高校（東北１）

１次ラウンド・藤枝順心高校の試合日程

日程	時間	対戦相手	会場
1/3(日)	11:45	北海道文教大明清高校	実
1/4(月)	11:45	鳳凰高校	実
1/5(火)	11:45	富岡高校	大Ａ

＜会場＞実：別府市実相寺サッカー競技場　大Ａ：大分スポーツ公園サッカーラクビー場Ａコート

決勝ラウンド組み合わせ

1/7(木)　1/8(金)

A1位 ― 大A11:00
B1位 ― 大A11:00 ― 大A11:00
C1位 ― 大B11:00
D1位

＜会場＞大分スポーツ公園サッカーラグビー場Ａ・Ｂコート

新たな挑戦

藤枝ＭＹＦＣ
監督兼選手
斉藤　俊秀

～サッカー王国藤枝での挑戦～

これまでの私のサッカー人生において、「挑戦」が多くの成長と成功をもたらしてくれました。何かに挑戦できる喜び、挑戦できる何かを得ることは、人生においてこの上ない生き甲斐だと抱いております。

今年の３月、私の新たなる挑戦が藤枝の地で始まりました。純粋にサッカーを探求し、サッカーを通じて自己研鑽したいという信念が、由緒あるサッカーの街藤枝に自分自身を導いてくれました。信念を貫いたことにより、多大な副産物を頂きました。それは新しい挑戦から今日までの本当にたくさんの方々との出逢いです。プロの世界から離れ、アマチュアから再出発した私にとって、この上ない糧となっております。

我々藤枝ＭＹＦＣは、今年２００９年４月に創設された藤枝市に本拠地を置くサッカークラブです。静岡県社会人リーグ１部に所属し、今季は11戦９勝１敗１分けでリーグ首位の成績で全日程を終了しました。総監督は、日本が誇る世界のストライカー釜本邦茂氏です。７月には、酒井友之を始めとする元Ｊリーガー５人が新たに加入し、来年の全国社会人選手権を制して「ＪＦＬへ昇格」、最短で２０１２年にＪリーグに参戦」を目指しております。

藤枝ＭＹＦＣは、「みんなで作るサッカークラブ」を標榜する日本初、直接民主制で運営するサッカークラブです。（http://myfc.jp）オーナー（有料会員）がインターネットを使い、クラブの運営方針などについて議論を重ねて投票するシステムです。クラブ名やエンブレム、藤色のユニフォームもオーナー投票によって決定しました。また、サッカースクールやイベントを開催し、各種活動にも積極的に参加し地域に貢献するクラブを目指しております。来年１月３日には藤枝総合運動公園にて、「藤枝ＭＹＦＣ初蹴り大祭」、藤枝ＭＹＦＣ対志太榛原地域出身Ｊリーガーのチャリティーマッチが行われます。是非、多くの皆様にお越しいただき、スタジアムを満員にして頂けたら幸いです。

まだまだ未熟な我々ですが、一歩一歩着実に歩んでいきます。今後ともよろしくお願いします。

新春！チャリティ「藤枝初蹴り大祭2010」

〈期日〉　２０１０年１月３日(日)
〈会場〉　藤枝総合運動公園サッカー場
中西部出身のＪリーガーと藤枝MYFCのドリームマッチ観戦や両チームの選手たちと子供たちが初蹴りで触れ合える。（有料）
●詳細はオフィシャルサイトをご覧ください。
http://www.myfc.jp/owner/hatsukeri2010/
〈問合せ先〉　藤枝MYFC　TEL 054-641-2070